



# 環境レポート

2008



環境にイイこと、プラス。



ユニー株式会社



## 会社概要

本社	〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地
設立	1950年3月13日
資本金	101億2,925万円(2008年2月現在)
代表者	前村 哲路
事業内容	衣・食・住・余暇にわたる総合小売業のチェーンストア
売上構成	衣料品20%・食料品59%・住居関連品20%・その他1%(2008年2月実績)
決算期	2月20日(年1回)／東京・名古屋(各1部)の各市場に上場
店舗数	18県下の主要都市に157店舗(2008年6月現在)
従業員数	27,285名(2008年2月20日現在)
売上高	7,149億円(2008年2月期実績)
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、農林中央金庫、みずほコーポレート銀行
HPアドレス	http://www.uny.co.jp
グループ連結売上高	1兆2,162億円(2008年2月期実績)
主なグループ企業	(株)サークルKサンクス、(株)99(キューキュー)イチバ、(株)ユースタ、(株)さが美、(株)パレモ、(株)モリエ、(株)鈴丹、UNY [HK] CO.,LTD.、(株)ユーライフ、(株)UCS、(株)サン総合メンテナンス、(株)サンリフォーム、(株)ユニコム、(株)マイサポート、(株)ユニフード、東名クラウン開発(株)、(株)バイナス



## 事業所

※2008年6月現在

### 北陸本部

#### ■ 福井県

ジョイマートユニー丸岡店、アビタ武生店、アビタ敦賀店、アビタ福井店、アビタ福井大和田店、ユーホーム福井大和田店

#### ■ 石川県

ユニー七尾店、アビタ金沢店、アビタ松任店、ユーホーム松任店、アビタタウン金沢ベイ店

#### ■ 富山県

ユニー小矢部店、アビタ魚津店、アビタ黒部店、アビタ砺波店、アビタ富山店、アビタ富山東店、アビタ食品館富山西町店

#### ■ 岐阜県

アビタ飛騨高山店

### 関東本部

#### ■ 新潟県

アビタ新潟亀田店、アビタ新潟西店、リバーサイド千秋(アビタ長岡店)

#### ■ 福島県

アビタ会津若松店

#### ■ 栃木県

アビタ足利店、アビタ宇都宮店

#### ■ 群馬県

ジョイマートユニー藤岡店、アビタ伊勢崎東店、けやきウォーク前橋(アビタ前橋店)、アビタ笠懸店、アビタ高崎店、アビタ館林店

#### ■ 茨城県

ユニー守谷店、アビタ石下店、アビタ佐原東店

#### ■ 埼玉県

ユニー大桑店、ユニー川本店、ユニー騎西店、アビタ岩槻店、アビタ吹上店、アビタ本庄店

#### ■ 神奈川県

ユニーイセザキ店、ユニー大口店、ユニー金沢文庫店、ユニー弘明寺店、ユニー座間店、ユニー大雄山店、ユニー長後店、ユニー戸塚店、ユニー中山店、ユニー日吉店、アビタ長津田店

#### ■ 千葉県

アビタ市原店、アビタ木更津店、アビタ津田店

### 中京本部

#### ■ 名古屋市

ユニーアラタマ店、ユニー今池店、ユニー大曾根店、ユニー中村店、ユニー守山店、アビタ新守山店、アビタ千代田橋店、アビタ東海通店、アビタ名古屋北店、アビタ名古屋南店、アビタ鳴海店、アビタ緑店、アビタ港店、ラフスコア豊橋店、ラフスコア正保店、ラフスコア神野店、ラフスコア滝ノ水店

#### ■ 愛知県

ユニー安城店、ユニー一宮店、ユニー岩倉店、ユニー乙川店、ユニー香久山店、ユニー国府店、ユニー新城店、ユニー武豊店、ユニー知立店、ユニー常滑店、ユニー豊明店、ユニー西尾駅東店、ユニー尾西店、ユニー碧南店、アビタ阿久比店、ユーホーム阿久比店、アビタ稲沢店、ユーホーム稲沢店、アビタ大口店、アビタ大府店、アビタ岡崎北店、アビタ刈谷店、アビタ蒲郡店、アビタ木曽川店、アビタ江南食品館、アビタ江南西店、アビタ高蔵寺店、アビタ小牧店、アビタ瀬戸店、アビタ知立店、アビタ東海荒尾店、アビタ桃花台店、アビタ豊明食品館、アビタ豊川店、アビタ豊田元町店、

アビタ長久手店、アビタ向山店、ユーホーム安城店、ユーホーム矢作店、ラフスコア豊川店、ラフスコア半田清城店、ラフスコア三河安城店、アビタ安城南店

#### ■ 岐阜県

ジョイマートユニー恵那店、ジョイマートユニー各務原店、ユニー可児店、ユニー関店、ユニー多治見店、ユニー長良店、ユニー瑞浪店、アビタ各務原店、ユーホーム各務原店、アビタ北方店、アビタ岐阜店、アビタ中津川店、アビタ美濃加茂店、アウアウォーク大垣(アビタ大垣店)

#### ■ 三重県

ジョイマートユニー阿倉川店、アビタ伊賀上野店、アビタ桑名店、アビタ鈴鹿店、アビタ名張店、アビタ松阪三雲店、ユーホーム松阪三雲店、アビタ四日市店

#### ■ 長野県

ジョイマートユニー飯田駅前店、アビタ飯田店、アビタ伊那店、アビタ岡谷店、アビタ高森店

#### ■ 奈良県

アビタ大和郡山店、ユーホーム大和郡山店

### 静岡本部

#### ■ 山梨県

アビタ石和店、アビタ田富店

#### ■ 静岡県

ユニー伊東店、ユニー磐田店、ユニー掛川店、ユニー浜松東町店、ユニー富士宮店、ユニー吉原店、アビタ大仁店、アビタ静岡店、アビタ島田店、アビタ初生店、アビタ藤枝店、アビタ浜北店

## 環境理念

地球規模での環境破壊が深刻化している今日、環境に優しい循環型社会実現のために、ユニーは企業活動を通じて貢献します。

## 環境方針

ユニー株式会社は

1

総合小売業として環境負荷の少ない安全安心な商品及びサービスの提供に努めます。

2

全従業員が環境問題に関心を持ち、「環境活動」「環境教育」を通じて、汚染の予防及び継続的な改善に努めます。

3

環境側面に関連して適用可能な環境に関連する法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を順守し、お客様ならびに一般市民・行政機関とパートナーシップをとり、人と環境に優しい社会の実現に努めます。

4

環境目的・環境目標を設定し、限りある資源を大切にするために、省資源・省エネルギーに取り組み、廃棄物の排出抑制、リサイクルを推進します。

5

この環境方針を実行・維持し、当社で働く全従業員並びに関係する人々に周知し、広く一般に開示します。

2007年3月21日

ユニー株式会社  
代表取締役社長

前村哲路

## CONTENTS



会社概要・事業所	1
環境理念・環境方針	2
社長インタビュー	3
エコ・ファーストの約束	5
環境マネジメント	7
環境計画の概要	9

### 環境にイイこと、プラス。

容器包装の見直し	11
食品廃棄物リサイクルシステム	19
環境負荷	23
廃棄物や容器包装を削減する取り組み	25
店舗での取り組み	27
環境配慮商品	29
ピック・アップ・ストア(アピタ大垣店)	31
子供環境学習	33

### 社会・地域にイイこと、プラス。

社会貢献・地域貢献	35
お客様の声	38

### 従業員にイイこと、プラス。

人材育成	39
環境学習	40
ユニーの食育について	41

## 環境レポート2008

### 対象範囲

ユニー株式会社157店舗及び本社事務所(各エリア事務所含む)

### 対象読者

ユニーの各店舗をご利用いただくお客様のほか、店舗の近隣住民の方々、お取引先・従業員など、当社に関わる全ての皆様を対象とします。

### 対象期間

2007年度(2007年2月21日~2008年2月20日)

※一部上記対象期間以外の活動等を記載しています。



### 自然との調和を大切に

「未来の子供達に美しい自然を残したい」ユニーは環境に優しい生活をお客様と一緒に進めています。

# 未来の子どもたちに美しい自然を残すために、 お客様と一緒に低炭素社会の構築を推進します。

ユニー株式会社代表取締役社長 前村哲路



## エコ・ファースト企業としての使命

●百瀬 ユニーは環境に対して先進的に取り組んでいる企業として、総合小売業から「エコ・ファースト企業」第1号に選ばれました。食品リサイクルの分野でのトップランナーであると認められたわけですが。

●前村 ユニーは食品を取り扱う小売業として、店舗から排出する生ゴミをできるだけ削減し、またリサイクル資源として活用する努力をしてきました。排出した生ゴミを堆肥にリサイクルして、それを使って農業者の協力で野菜を栽培し、再び店舗で販売するという食品リサイクルループの完成により、2007年1月に「再生利用事業計画認定第1号」になりました。これは、2001年の食品リサイクル法施行以来初めての認定です。結構苦労しましたね。

●百瀬 はい、ユニーに環境部ができたのが2001年、それ以来ずっと「食品リサイクルループ」構築のために努力してまいりましたが、ようやく完成したのです。

●前村 ユニーの食品リサイクルループは、生ゴミをリサイクル

するだけでなく、生ゴミを原料にした堆肥を使って「安全安心な新鮮でおいしい野菜」をお客様に提供し、喜んでいただくことを目的にしていますね。そして、その野菜の生産は近隣の農協に協力していただいているので、本当の「地産地消」になったということです。これらの成果が認められ、2007年10月には「第1回環境省食品リサイクル推進環境大臣賞」の最優秀賞を、食品リサイクルループを構築したパートナー、愛知県経済連とヒラテ産業（堆肥を製造した再生利用事業者）と一緒に受賞することができたのです。

●百瀬 これらの実績で「エコ・ファーストの約束」を環境大臣と交わすことになったのですね。今後は食品リサイクルの環を各地に作り上げ、更にリサイクル率を向上することを約束しています。また、この約束には食品リサイクル以外にも、環境に対する取り組みがあります。

●前村 そうですね、家庭から出るゴミの60%が商品などの容器包装だといわれていますが、これらをいかに削減していくかということも、約束のひとつです。特にお客様と一緒に進めていく環境活動として、「レジ袋を使わないお買い物」を各地で展開していますね。レジ袋は便利ですが、使用後はプラスチックゴミに



食品リサイクルなどの先進的な環境活動が評価され、2008年4月、ユニーは業界のトップランナー企業として環境大臣に対し「エコ・ファーストの約束」をいたしました。

「エコ・ファーストの約束」を果たすために、また次世代に繋げるサステナビリティな環境への取り組み、地域社会の中で果たすべき企業の社会貢献などについて、前村哲路代表取締役社長と百瀬則子環境社会貢献部長の対談形式でお話を伺いました。



代表取締役社長 前村哲路 (左)、環境社会貢献部長 百瀬則子 (右)

なってしまう、CO<sub>2</sub>を排出することになります。お客様が来店される時にマイバッグやエコバスケットを持参していただき、ゴミになるレジ袋を辞退していただくことが地球温暖化防止につながるのですね。

●百瀬 レジ袋を無料でお渡しすることを止め、ご入用なお客様には購入していただくことを「レジ袋有料化」として、各自治体や市民団体のみなさんと一緒に進めていきたいと考えています。

●前村 それはまさに、日本の真中にある中京圏から発信している、地域循環社会の形成ですね。この地域ではユニーがリーダーシップをとり、市民のみなさまや同業企業と一緒に進めるということで、自治体からも期待されています。有料化を導入した店舗のレジ袋辞退率は80%以上で、使用削減の効果は絶大ということが解りました。また有料レジ袋の収益金などは、地域の緑化事業など環境活動に寄付しています。

●百瀬 エコ・ファーストで約束した2012年までには、ユニー全店がレジ袋有料化になっているのではないかと期待しています。ゴミの排出全体からみれば小さな一歩ですが、地元の消費者団体をはじめ、自治会や子供会、地元NPOなど地域全体を巻き込んだ大きな協力体制が組めたことにより、次の活動展開が期待できます。



## 「店舗」と「製品」両面からCO<sub>2</sub>を削減

●百瀬 来春は「エコ・ストア」第一号店の「リーフウォーク稲沢」をオープンする予定です。できるだけエネルギー使用を削減するために、コジェネレーションや壁面緑化、太陽光発電・省エネ照明のLEDなどを設置したモール型店舗です。

●前村 従来から省エネ型照明や空調設備などは取り入れていましたが、この「エコ・ストア」はさらに省エネ設備を導入し、さらにリサイクル建材や雨水利用なども取り入れた環境配慮型モールです。CO<sub>2</sub>の削減を明確に打ち出していきます。

●百瀬 店舗だけではなく、商品でもCO<sub>2</sub>を削った商品を開発・販売していますね。

●前村 それは愛知万博のマスコット「モリゾー・キッコロ」のマークをつけた「ecolon」(エコオン)です。原料・製造・包装・廃棄の段階で環境に配慮していることを「第三者審査」により評価していただき、環境に配慮していることを認められた商品です。これらの商品の一部は、カーボンフットプリント(商品の材料・生産・物流・使用・廃棄までの過程で発生するCO<sub>2</sub>の量)を計測し、表示する試みにもチャレンジしています。

●百瀬 お客様がCO<sub>2</sub>排出量の少ない商品を選んで購入していただくことが地球温暖化防止につながり、低炭素社会が実現することが小売業の果たす役割だと考えています。お客様が商品を購入することは、「低炭素社会構築」のための投票だと思っています。ユニーの環境配慮商品がたくさんのお客様に支持され、たくさん買っていただくことが低炭素社会実現につながります。そのために私達はお客様に喜んでいただける環境配慮商品を開発し販売していくように努力します。



## ユニーのもう一つの企業理念

●前村 企業の社会的責任は、環境保全活動と社会貢献だと考えています。世界中で飢餓に苦しむ人は多く、特に6秒に1名の乳幼児が飢餓が原因で亡くなっています。そうした貧しい地域や災害で飢餓に苦しんでいる人々に食糧支援をするWFP(国連世界食糧計画)の活動を応援することにしました。

●百瀬 WFPの「給食プログラム」は食糧が不足している地域で、給食を支給することで子供達が学校に行くことができるようにという支援活動ですが。

●前村 1食20円のビスケットを子供達にプレゼントすることは、子供達を飢餓から救うだけではなく、学校に行くことで読み書きや計算を学ぶチャンスを与えることになります。ランチタイムに出かけるときに、ポケットの中にある1コインを子供達の給食のために募金する。身近なところで社会貢献できるのですから、ぜひ社員の皆さんに協力していただいて進めていきたいですね。そして、今後は更に、未来の子供達に美しい自然を残すために、循環型社会の形成や地球温暖化防止に取り組んでいきますよ。

●百瀬 先日名古屋市緑区の公園に植樹をしました。私達がこの世にいなくなっても、未来の子供達が私達の植えた木の木陰で遊ぶ。これも次世代へのすてきなプレゼントじゃないでしょうか。お客様にユニーのこうした取り組みを理解していただき、一緒に進めていきたいのです。

●前村 それが私達にとって、一番うれしいことです。

●百瀬 本日はありがとうございました。

# エコ・ファーストの約束 業界から唯一選ばれた エコ・ファースト企業

ユニーは、環境省が進めている「エコ・ファーストの約束」を環境大臣と交わしました。  
食品リサイクルへの取り組みに関し、業界のトップランナーであることから、  
「エコ・ファースト企業」として環境省より、業界初の認定をいただきました。



## エコ・ファースト制度

「エコ・ファースト制度」は、環境省が業界のトップランナー企業の環境保全に関する行動を促進するため、企業が環境大臣に対し京都議定書の目標達成に向けた地球温暖化対策など、自らの環境保全に関する取り組みを、約束する制度です。

ユニーは2008年4月21日に、環境省が業界のトップランナー企業の環境保全に関する行動を更に進めるために創設した「エコ・ファースト制度」にもとづき、食品リサイクルに関するトップランナーとしての取り組みを更に進めていくために、鴨下環境大臣に対し「エコ・ファーストの約束」を行いました。これは、小売業としての社会的責任を踏まえ法令遵守を徹底するとともに、環境負荷の軽減を通じ、積極的に社会貢献することを目的としています。



エコ・ファースト・マーク



## 食品リサイクルのトップランナー

ユニーは食品リサイクル法施行（2001年）以来、食品リサイクルの先進的な活動を行ってきましたが、2007年には、店舗から排出した食品残さ（生ごみ）をリサイクルし生産された農畜産物を、店舗が販売する「食品リサイクルループ」を構築し、食品リサイクル法施行以来初の「再生利用事業計画」の認定を受けました。

更にこの取り組みが評価され、2007年度に創設された食品リサイクル推進環境大臣賞において、最優秀賞を受賞しました。今後は食品残さ（生ごみ）の発生抑制、営業店舗のある全県（18県）で食品リサイクルループの構築を目標に、更に取り組みを進めます。

ユニーは今後、循環型社会の形成、地球温暖化防止に向けた取り組みを積極的に推進し、未来の子供達に美しい自然を残すために、お客様と一緒に低炭素社会の構築を推進します。



「エコ・ファーストの約束」を交わす  
鴨下環境大臣とユニー（株）前村社長  
（平成20年4月21日）

## エコライフ・フェア2008

ユニーはエコライフ・フェア2008の環境省ブース「エコ・ファースト」に出展しました。

2008年6月7・8日に東京都代々木公園ケヤキ並木で開催され、環境活動に関心のある市民のみなさんが2日間に67,000名来場されました。

今年は京都議定書第一約束期間の始まりの年であり、環境問題に重点をおいた洞爺湖サミット開催年であることから、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会づくりに焦点を当てたイベントとなりました。

エコ・ファースト企業として、小売業の果たすべき環境への取り組み、「食品リサイクルループ」「容器包装のリサイクルループ」「次世代の子供達への環境活動」などを展示しました。

特に、食品リサイクルループで栽培した野菜の展示や、子供達に参加してもらった「ぼくのわたしの環境宣言」に関心を持たれた方が多く、東京都に未出店のユニーを知っていただくとともに、環境への取り組みに共感していただくことができました。





# エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取組～

平成20年4月21日

環境大臣 鴨下 一郎 殿

ユニー株式会社  
代表取締役社長

前村 哲路

ユニー株式会社は、食品循環資源の再生利用等を推進すべき食品等の小売業としての社会的責任を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、環境負荷の軽減を通じ積極的に社会貢献するため、以下の取組を進めてまいります。

## 1 食品リサイクルを適正かつ積極的に推進します。

- 食品廃棄物等の発生抑制の取組として、2012年度までに、食品売上高当たりの食品廃棄物等の発生量を2007年度と比べ10%削減します。
- 食品リサイクル法に基づき、食品循環資源のリサイクルの取組を2012年度までに、全店舗において展開し、会社全体として2012年度に再生利用等実施率60%を達成します。
- 再生利用事業計画認定制度を活用して、当社が排出した食品循環資源を再生利用することを通じて得られる農畜水産物を、再び当社において販売する食品リサイクルループを、地元のリサイクル業者や農業者等と連携し、地産地消の取組となるよう配慮しつつ、2012年度までに、当社が店舗展開する18県の全地域に拡大します。
- 消費者や次世代を担う子どもたちに対して、環境配慮に係る普及啓発を積極的に推進するため、食品リサイクルループに参画する農場での収穫体験ツアーを実施する等、2012年度までに全店舗において年1回以上の環境学習会を実施します。

## 2 その他循環型社会の形成に向けた取組をお客様と一緒に積極的に推進します。

- 容器包装廃棄物の発生抑制の取組として、2012年までに会社全体として、レジ袋の辞退率60%を達成します。
- 地方自治体と協力しながら、お客様が商品と一緒に持ち帰った容器包装を店頭回収し、限りある資源を有効に循環させます。
- 配送業者と連携し、配送時の梱包材を通い箱に転換することにより、2012年度までに、段ボールの廃棄物排出量を2007年度と比べ10%削減します。

## 3 地球温暖化の防止に向けた取組を積極的に推進します。

- 環境配慮商品やサービスを、消費者を含む第三者機関による検討を行って積極的に開発し、その販売拡大を図るとともに、それらの情報を提供することを通じ、地球温暖化防止を目指したライフスタイルの提供を推進します。
- 事務所内はもとより、店舗においても、お客様の理解を得ながら空調温度設定による省エネ化を推進します。
- 2012年度までに全ての店舗における照明器具を、通常の蛍光灯より少ない電力で同等の照度を保つ「Hi蛍光灯」へ転換するとともに、看板の照明を電力消費量の少ないLED照明に転換することにより、店舗における電力使用量を削減します。

ユニー株式会社は、上記取組の進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。



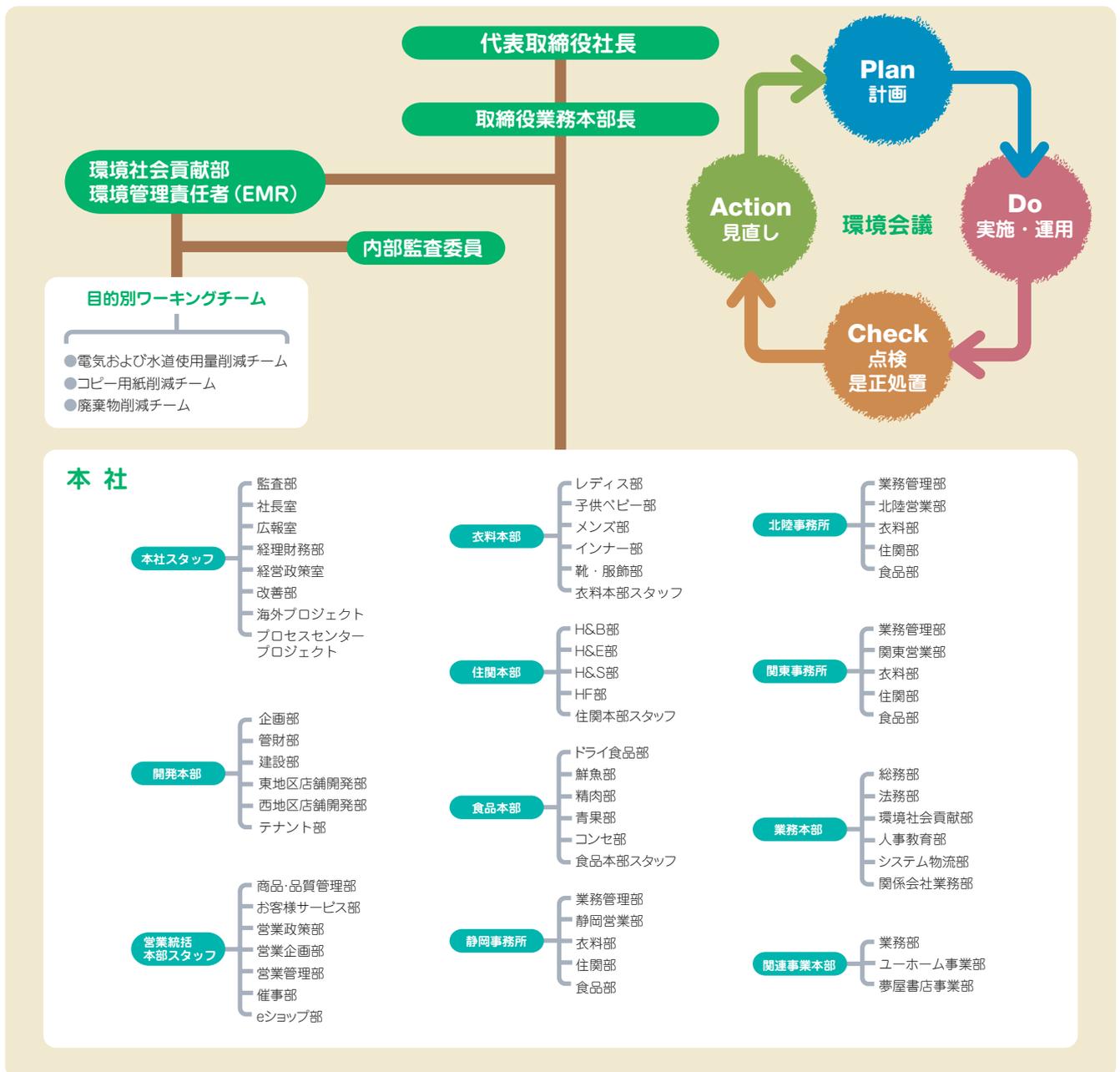
# 環境マネジメント ユニーの 環境マネジメントシステム

「未来の子供達に美しい自然を残したい」と願うユニーは、全ての事業所と店舗で環境保全活動を実施しています。京都議定書の目標達成年まで4年。地球温暖化防止の原因とされるCO<sub>2</sub>など温室効果ガス削減を環境目標に環境マネジメントシステムを構築しており、事業所・店舗で排出するCO<sub>2</sub>削減するために、省エネ省資源（エネルギーや水の使用抑制）・廃棄物削減とリサイクル・コピー用紙使用削減などを推進し、その実績はCO<sub>2</sub>に換算して目標管理を行っています。

## 組織図

### 環境マネジメント組織（EMS組織）

環境保全活動に対する取り組みを、Plan（計画・目的目標の立案）、Do（実行）、Check（検証）、Action（見直し・改善）のサイクルで環境方針を実現するために、環境マネジメントシステムを構築しています。2008年2月からユニー（株）の組織変更により、関東・静岡・北陸の各本部を本社に統合しました。それに基づき、環境マネジメント組織（EMS組織）も変更しています。





## 環境マネジメントシステム (ISO14001) への取り組み

2004年に本社事務所がISO14001を認証取得し、以降静岡・北陸・関東の各本部で認証取得しました。2008年2月のユニー（株）の組織変更に伴い、各本部は本社に統合されましたが、認証は継続しています。また、本社事務所は2007年12月、取得3年後の更新審査を受け、更新いたしました。



### 緊急事態への対応

● 消防訓練を実施



消防訓練

● 保管庫を設置

閉店店舗から低濃度PCBを撤去したため、保管庫を新たに設置し適正に保管しています。



### 継続的な改善

● 省エネ活動…空調温度規制

照明の個別管理

クールビズ・ウォームビズ

● 省資源…コピー用紙の使用削減

● 廃棄物の削減とリサイクル推進

● 本社周辺の清掃活動



周辺清掃活動

### ISO14001推進のための社員教育

環境方針、環境目的目標やEMSの仕組みを理解してもらうために、サイトの全従業員と関係する人達に教育を行っています。

また、環境マネジメントシステムを維持するための内部監査を行なう内部監査員を養成しています。



2009

2008年  
組織変更にともない、  
環境マネジメントシステム (EMS)  
組織の見直しを行い、  
更に継続的な改善を目指す

2008

2007年  
本社事務所登録を更新

2007

2006年2月24日  
本社事務所範囲拡大

2006

2005年12月1日  
関東本部認証取得

2005年9月14日  
北陸本部認証取得

2005年7月4日  
関東本部キックオフ

2005年3月28日  
北陸本部キックオフ

2005

2004年12月9日  
静岡本部認証取得

2004年7月26日  
静岡本部キックオフ

2004年1月14日  
本社事務所認証取得

2004

2003年9月7日  
本社事務所キックオフ

2003年3月17日  
社内環境会議でISO14001の  
勉強会を開始

2003

2002

2001年6月20日  
「環境レポート2001」を発行

2001

2001年2月21日  
本社業務本部に環境部を設置

# 環境計画の概要

## 環境計画の目標と実績

ユニーは低炭素社会を実現するために、環境方針に基づき継続的な環境保全活動を行ってまいります。そのために具体的な環境目的及び数値的な目標を設定し、取り組んでまいります。目標を達成するために、環境会議で検討した計画と対応策を各部署・各店舗で実践し、その結果を踏まえながら、次の目的・目標を立案します。そうした活動を通じ、「未来の子供達に美しい自然を残したい」を実現していきます。

### 環境計画

環境方針	取り組み項目	2007年目標
環境マネジメントシステムの構築	● ISO14001による全社における環境マネジメントシステムの構築	● 店舗への環境マネジメントシステム普及を図る ● セルフチェックリストによる、廃棄物・エネルギー使用量・包装資材・排水管理・リサイクルなどの監視の実施
	● 環境配慮商品の開発	● PB商品の環境配慮商品を開発する
環境負荷の低減 省エネ省資源	● 省エネへの取り組み	● エネルギー使用量削減により、CO <sub>2</sub> 発生抑制を図り、2%削減（前年比） ● 省エネ運動の推進 ● 電気使用量1%削減（前年比）
	● 物流システムの見直し	● 走行距離、燃料消費量、CO <sub>2</sub> 排出の抑制 ● リサイクルハンガー、通い箱の推進 ● 環境負荷軽減車両の導入
	● 包装資材の使用削減	● 包装資材の見直し（素材・サイズなど） ● トレイ・ラップ・レジ袋・包装紙などの使用量5%削減（前年比）  ● レジ袋有料化実験開始 ● レジ袋辞退率20%
廃棄物の適正処理とリサイクル推進	● 廃棄物排出削減	● 廃棄物排出総量5%削減 ● 廃棄物適正処理の確立、処理コストの見直し ● 廃棄物計量全社実施、データの本社管理システム確立
	● リサイクル推進	● 改正食品リサイクル法遵守 ● リサイクル率40% ● リサイクル推進
	● 店頭容器回収の推進	● リサイクルボックスの回収拡大  ● 回収品の種類を増やす
グリーン購入	● グリーン購入品種拡大	● OA紙のグリーン購入率95%
環境情報の開示と環境保全活動	● 環境情報の開示	● 環境レポート2007発行 ● ホームページで情報発信 ● 店舗において、環境ポスターの掲示
	● 環境保全活動	● 地域環境活動への参加（NPO・行政との協働） ● 地球温暖化防止活動の実施
	● 環境教育、啓蒙活動の拡大	● 従業員教育 ● 子供のための環境教育の充実 ● 消費者への啓蒙活動 ● 取引先への啓蒙活動
環境汚染防止		● 排水水質管理システムの構築 ● 有害物質管理PCB・フロンガス・アスベスト・その他



2007年結果	評価	2008年目標
●廃棄物削減、エネルギー管理など部分的に取組開始	△	
●社内業務監査項目とし、監査部が点検し、不備について改善した	○	●目標管理システムを構築する
●環境配慮PB商品「eco!on」(エコオン)発売	○	●カーボンフットプリントの導入を図る
●CO <sub>2</sub> 481,976t(94.7%) 5.3%削減	×	●CO <sub>2</sub> 原単位2%削減
●改善活動と連動して、消灯や室温管理を実施	○	●省エネ運動の効果を測定する
●電気使用量 900,191千kwh(103.1%)	×	●電気、石油を1%削減
●ガス使用量 15,499千m <sup>3</sup> (82.1%)		
●石油使用量 18,595千ℓ(73.0%)		
●輸送量 3,500万t(前年比107%)	×	●原単位1%削減
●全地区で導入	△	●ダンボール3%削減
●フルーツケース、きらら卵パックにバイオマスプラスチック使用	○	●再生製品を作成
●レジ袋 1,818t(87.6%) 22.4%削減	○	●包装資材2%削減
●包装紙 217t(103.8%) 3.8%増加	×	
●紙 袋 356t(90.8%) 9.2%削減	○	
●横浜市、掛川市、名古屋市などで開始	○	●レジ袋有料化70店舗で実施
●レジ袋辞退率20.6%	○	●レジ袋辞退率30%
●廃棄物総排出量 78,012,660kg(98.6%) 1.4%削減	×	●廃棄物排出総量5%削減
●マニフェスト、契約書の管理と点検の実施	○	●廃棄物処理フローの検証実施
●データの自社管理システムの導入開始	△	
●食品リサイクル率実績20%以上達成	○	●食品リサイクルループの拡大
●リサイクル率34%	×	●リサイクル率40%
●中京地区の廃プラスチックリサイクル実施	△	
●牛乳パック 425.2t(101.3%) ●トレイ 200.3t(98.5%)	△	●リサイクルボックス回収実績3%向上
●アルミ缶 356.2t(102.5%) ●ペットボトル 961.3t(111.7%)		
●バイオマスプラスチック製容器(100店舗)レジ袋(14店舗)	○	●バイオマスプラスチック製品全店頭回収
●偽装問題により確定できず	—	●グリーン購入品品種拡大
●環境レポート2007発行	○	●環境社会貢献レポート発行
●ホームページで情報発信	○	●ホームページに環境商品情報
●店舗において環境ポスターの掲示	○	●店舗に環境掲示板の設置
●グリーンキャンペーン、グリーン購入キャンペーンなどに参加	○	●地域環境活動への参加
●ブラックイلمネーション、チームマイナス6%に参加	○	●地球温暖化防止活動の実施
●新規開店店舗での環境教育実施	○	●新規開店店舗、各職層への環境教育
●子供環境学習会の実施(20店舗35回開催)	○	●子供環境学習会開催(30店舗40回開催)
●各地域環境展への出展、シンポジウムなど参加	○	●各地域環境展、シンポジウムなどへの参加
●環境関連事業者連絡会セミナー開催 2回開催	○	●環境関連事業者連絡会セミナー開催
●全店舗での排水水質監視を実施	○	●全店舗での排水水質監視を実施
●低濃度PCB保管庫の設置、有害物質適正管理実施	○	●低濃度PCB保管庫の設置、有害物質適正管理実施



# 容器包装の見直し ① 容器包装をできるだけ使わない販売への取り組み（発生抑制）

ユニーで販売している商品の多くは、容器に入っていたり包装されていたりします。家庭で中身を取り出したあとの容器包装は、家庭から排出されるゴミの約60%を占めるといわれています。ゴミになってしまう容器包装資源の節約や、CO<sub>2</sub>の発生抑制のために、ユニーは容器包装を見直しています。

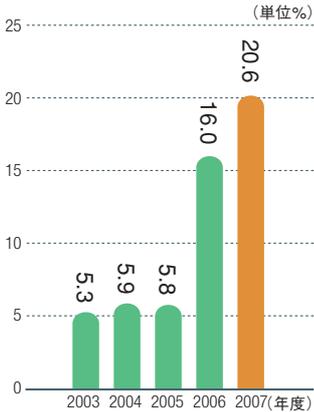


## ノーレジ袋キャンペーン

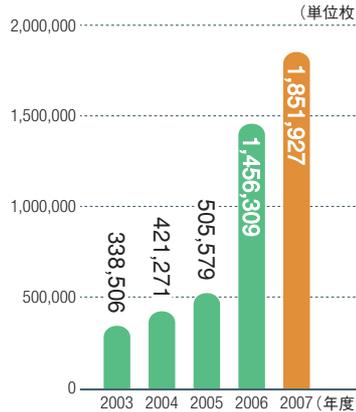
1989年愛知県一宮市で、レジ袋使用削減を目的として「お買い物袋持参運動」を開始し、お客様と一緒に廃棄物削減のために実施してきました。2001年からは、「何度も使っていただけるレジ袋」としてのマイバッグを、スタンプカード（スタンプ20個押印済み）と交換でプレゼントする「マイバッグキャンペーン」を実施しました。2006年にはさらにレジ袋を使わないお買物をすすめるために、装い新たに「ノーレジ袋キャンペーン」とし、従業員全員にマイバッグを渡し率先して使用したり、店内にわかりやすい表示をし、できるだけたくさんの方々に参加を呼びかけました。

その結果、2001年のレジ袋辞退率約3%でしたが、2005年には5.8%、2006年には16.0%と向上しました。

●ユニー全社のレジ袋辞退率の推移 (単位%)



●スタンプカード発行枚数 (単位枚)



●ユニー全社のレジ袋使用枚数 (単位千枚)

2003年度	320,744
2004年度	326,067
2005年度	340,611
2006年度	333,630
2007年度	310,559

●容器包装リサイクル法への対応

2003年度	1億4,900万円
2004年度	2億135万円
2005年度	2億5,487万円
2006年度	2億7,322万円
2007年度	2億9,729万円
2008年度	2億6,385万円

●レジ袋使用量・重量の推移 (全サイズのレジ袋の重量)

2003年度	お客様に適正枚数配布の教育実施	2,329t
2004年度	従業員全員にマイバッグ配布	2,242t
2005年度	愛・地球博エコマネーに参加	2,195t
2006年度	ノーレジ袋キャンペーン開始	2,075t
2007年度	レジ袋無料配布の中止	1,818t



## レジ袋有料化

### レジ袋無料配布の中止の取り組み

ユニーでは、レジ袋使用削減のためにノーレジ袋キャンペーンを推進してきましたが、お客様のレジ袋辞退率は約20%からなかなか伸びなかったため、レジ袋無料配布中止を地域の市民団体や自治体と一緒に取り組み始めました。2007年6月に横浜市緑区のユニー中山店で初めて実施した際には、「レジ袋が有料なんてサービスが悪い」とされ、かなり厳しいスタートになりました。このことから、レジ袋無料配布中止を実施するには、自治体や市民のみならず十分に準備を整え、合意を得てから始めることにしました。



1 自治体が「廃棄物削減および地球温暖化防止」のためであることを広く市民に理解を求め、主体的に取り組むこと。



2 地域の市民団体が支援して下さること。



3 地域の小売り事業者などが皆で参加すること。

自治体・市民団体・事業者の三者がそれぞれの役割を果たすために、協議会を設立し十分に話し合い、協定書を締結するよう努める。

その後、2007年10月に名古屋市緑区、静岡県掛川市でレジ袋無料配布を中止しレジ袋有料化にして以来お客様のご理解と支援を受けてスムーズに実施され、辞退率も80%以上となり実施地域も着実に拡大してきています。



## ● 容器包装削減への取り組み ●

### 1 容器包装をできるだけ使わない販売への取り組み

レジ袋のように、お客様と一緒に「使わなくてもよい容器包装」を削減する。

- ノーレジ袋キャンペーン
- レジ袋無料配布の中止
- 使用済みレジ袋のリサイクル

### 2 使った後の容器包装を廃棄物にしない取り組み

お客様が商品と一緒に持ち帰った容器包装を回収し、再生資源にする。

- リサイクルボックスによる店頭回収
- 再生資源として製品（トイレペーパーなど）やベンチにリサイクル

### 3 サステナブル（持続可能な）原料を使った容器包装への取り組み

限りある化石資源（石油）を使用せず、繰り返し栽培可能な植物資源を原料にする。

- バイオマスプラスチック製容器の使用
- 使用済みバイオマスプラスチック製容器のリサイクル

## レジ袋無料配布中止実施地域



## レジ袋有料化に向けての取り組み（名古屋市）

### ■ 環境デーなごやにて締結（2007年9月）

名古屋市では、2001年から学識経験者・名古屋市・市民団体・事業者で構成する「容器・包装3R推進協議会」を設立し、レジ袋使用削減に努めてきました。2007年10月よりレジ袋有料化を決め、三者協定を締結し名古屋市緑区内より実施しました。



名古屋市松原市長・ユニー前村社長

### ■ 植樹祭

有料レジ袋を販売した収益金をエコマネーセンターにお渡し、2008年6月名古屋市緑区内の公園で市民のみなさまと一緒に植樹をしました。



名古屋市山田副市長・ユニー前村社長

### ■ レジ袋有料化実施に向けてのキャンペーン

10月のレジ袋有料化実施に向けて、広く市民のみなさまに周知理解していただくために、市民団体・名古屋市職員・ユニーの従業員が一緒に各店でキャンペーンを実施しました。



名古屋市緑区アピタ鳴海店



## 1

### 容器包装をできるだけ使わない販売への取り組み（発生抑制）



## リサイクルボックスによる容器回収

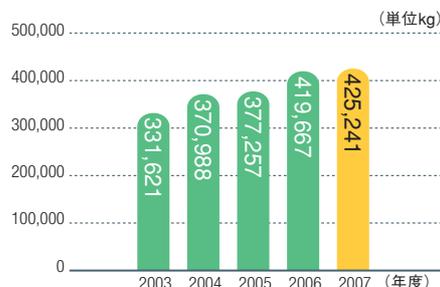
ユニーはお買い物と一緒にお客様が家庭に持ち帰る容器包装を回収し、廃棄物の削減と再生資源の利用に努めています。これはお客様と一緒に進める「循環型社会」構築のための活動です。家庭から出た使用済みの容器包装をお買い物時に持ってきていただき、リサイクルボックスで回収。回収した容器包装を再生利用した製品を販売したり、店内で使用したりしています。

また、各店のリサイクル回収実績は毎月ポスターに記載して公表するとともに、リサイクルの流れや製品をわかりやすく説明したポスターも掲示し、お客様にリサイクルの仕組みを理解していただくよう努めています。

2007年10月からは、バイオマスプラスチック製容器の回収リサイクルも開始しました。

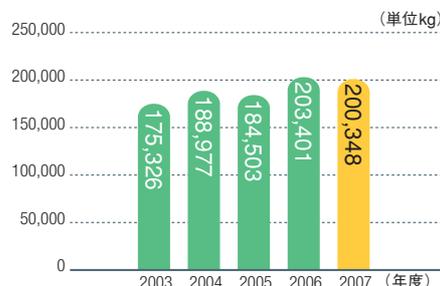
### 牛乳パック リサイクル実績

年度	参加店舗	食品取扱店舗	参加率 (%)
2003	135	136	99.3
2004	137	141	97.2
2005	138	140	98.6
2006	142	142	100.0
2007	142	142	100.0



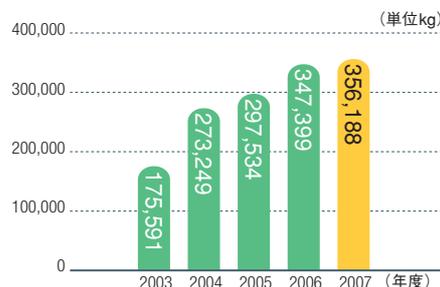
### 発泡スチロールトレイ リサイクル実績

年度	参加店舗	食品取扱店舗	参加率 (%)
2003	136	136	100.0
2004	139	141	98.6
2005	139	140	99.3
2006	142	142	100.0
2007	141	142	99.3



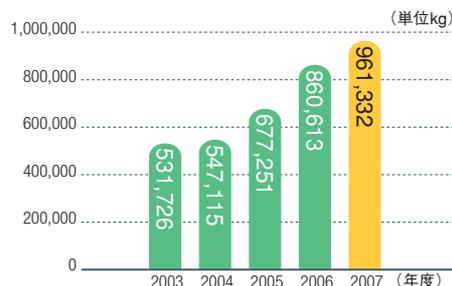
### アルミ缶 リサイクル実績

年度	参加店舗	食品取扱店舗	参加率 (%)
2003	108	136	79.4
2004	113	141	80.1
2005	114	140	81.4
2006	121	142	85.2
2007	123	142	86.6



### ペットボトル リサイクル実績

年度	参加店舗	食品取扱店舗	参加率 (%)
2003	53	136	39.0
2004	64	141	45.4
2005	68	140	48.6
2006	85	142	60.0
2007	90	142	63.4



## 2 使った容器包装を 廃棄物にしない取り組み（リサイクル推進）

### リサイクルセンターに集約

中京地区、北陸地区の各店舗で回収した容器包装（リサイクル資源）は、物流センター内のリサイクルセンターに集められて、計量後、効率的に搬送しやすいように圧縮し、それぞれのリサイクル工場に搬出します。

各店舗からの収集には店舗への商品物流便を使っているため、余分なエネルギーやCO<sub>2</sub>排出削減につながります。

#### 容器包装リサイクルの仕組み



店舗	リサイクルセンター	リサイクル工場
 <p>●牛乳パック</p>	<p>リサイクル処理</p>  <p>弥富リサイクルセンター</p>	 <p>他の古紙とともにユニーの包装紙・袋・トイレットペーパーに再生しています。</p>
 <p>●トレイ</p>	<p>計量システム</p> <p>1</p>  <p>各店舗からリサイクル資源が到着します。</p> <p>2</p>  <p>袋に貼られた店舗コードを読みとり、店舗ごとの重さを量ります。</p> <p>3</p>  <p>計量したデータはユニー本部へフィードバックします。</p> <p>●牛乳パック</p> <p>●トレイ</p>	 <p>生鮮食品などに使われる発泡スチロールトレイは工場ではフラワーポットやベンチの原料に再生しています。</p>
 <p>●アルミ缶</p>	<p>●アルミ缶</p> 	 <p>アルミの製造には膨大な電気を必要としますが、アルミ缶の再利用によってエネルギーが節約できます。</p>

※計量システムは、中京本部で実施



2

使った容器包装を  
廃棄物にしない取り組み (リサイクル推進)



使用済みレジ袋のリサイクル

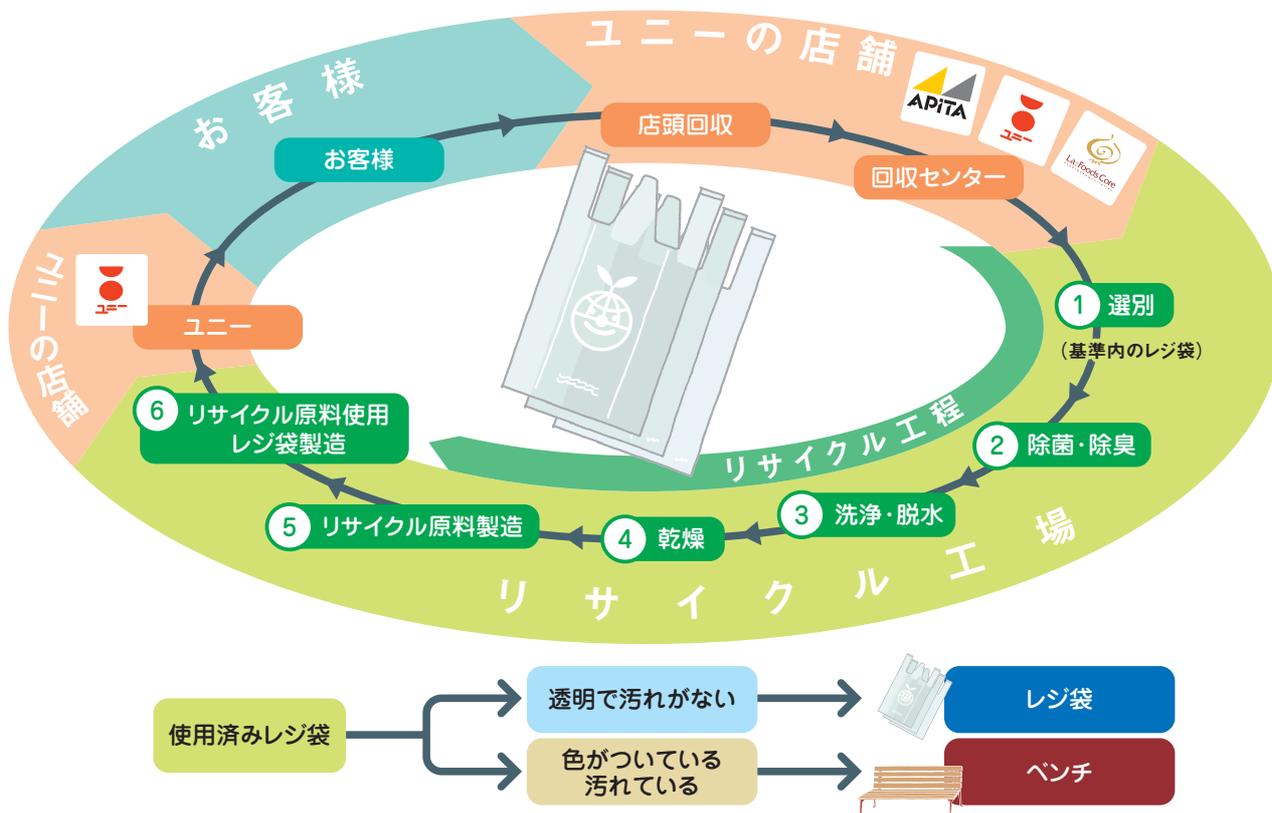
レジ袋はコンパクトで水漏れにも強く、安心・便利な「お買い物袋」のひとつです。地球環境に問題なのは、使用した後に廃棄物になることです。特に自然界に廃棄されてしまうと、朽ちることなく海に漂ったり大地に散乱して、たくさんの生物に被害をもたらしてしまうことがあります。

そこで、ユニーは2008年4月より、使用済みレジ袋のリサイクルを始めました。使用済みレジ袋を再生資源とし、新しい原料に混ぜてもう一度レジ袋をつくる試みです。

まだ始まったばかりのリサイクルループですが、レジ袋が有料化されている地域の店舗から拡大していきます。



使用済みレジ袋のリサイクルループ



3 サステナブルな原料を使った  
容器包装への取り組み

 バイオマスプラスチック製容器の使用

バイオマスプラスチックは、従来の石油などを原料にしたプラスチックと異なり、植物を原料にしたものです。地球に存在する石油は限りある資源であり、継続的にプラスチック容器を使用するために、サステナビリティ(持続可能な)原料であるバイオマスプラスチックを使うことに取り組んでいます。

また、ユニーが容器に使用しているバイオマスプラスチックのポリ乳酸(PLA)は、原料がでんぷんなので、水分を加えながら加熱すると加水分解し、地中に埋めると微生物により水とCO<sub>2</sub>に分解されます。さらに、トウモロコシは空気中のCO<sub>2</sub>と水を吸収し、光による光合成で成長するので、分解しても燃やしても地球に新たなCO<sub>2</sub>を増やすことはありません。また、ケミカルリサイクル(原料リサイクル)が可能なので、各店舗のリサイクルボックスで回収し、リサイクルも進めています。



バイオマスプラスチックの特徴

- 1 **石油に代表される化石燃料の節約になる**  
トウモロコシのような植物生まれの原料を使うことで、限りある化石燃料が節約できます。
- 2 **二酸化炭素を増やさない**  
バイオマスプラスチックを燃やしても、もともと含んでいた二酸化炭素が自然に還るだけで、地球上の二酸化炭素の増加にはつながりません。(カーボンニュートラル)
- 3 **微生物の力で水と二酸化炭素に分解**  
生ゴミなどの堆肥に入ると、微生物によって水と二酸化炭素に分解され、廃棄物になりません。
- 4 **リサイクルできる**  
使用済みバイオマスプラスチック容器を回収し、再生資源としてリサイクルしています。



バイオスマーク

動植物を原料としたプラスチック  
使用後は水と二酸化炭素に分解され、  
自然に戻ります。

今後の課題

原料であるトウモロコシが食糧(家畜の飼料にもなります)やエネルギー(バイオエタノール)に使用されているので、これらとの競争を克服することが必要です。また、従来のプラスチックに比べ原料費が高いことと、若干熱に弱いので、用途拡大するためにはこれらの点を解決しなければなりません。



3

サスティナブルな原料を使った  
容器包装への取り組み



バイオマスプラスチック製容器のリサイクル

ユニーでは2006年より、卵パック（きらら10個入り）とフルーツケース（店頭販売用とカットフルーツ）にバイオマスプラスチック製容器を使用しています。これは、従来の石油を原料としたPET製容器に比べ、製造・廃棄（焼却処分など）時にCO<sub>2</sub>の発生抑制効果があり地球温暖化防止になります。

さらに2007年からは、使用済み容器を店頭回収し、原料リサイクル（ケミカルリサイクル）することを、九州工業大学・北九州エコ・サポーターズ（NPO）、武蔵野化学と一緒に進めています。2008年度には、リサイクルした再生バイオマスプラスチックの製品化を計画しています。



バイオマス利活用フロンティア推進事業の実施

2006年5月に、ユニーの進める「バイオマスプラスチック製容器使用」への取り組みに対し、農林水産省から「バイオマス利活用フロンティア推進事業」として認定されました。この事業は、バイオマスプラスチックを広く一般に認識していただき、利用の促進を主旨として更なる普及に努めるものです。今年度は「バイオマスプラスチック製容器の回収と再生利用」を課題とし、当社が採用するバイオマスプラスチック製容器を店頭にて回収し、再生利用への道筋を立てるべく、引き続き学識経験者、メーカー、消費者代表、物流関係者、商品担当者と「実証委員会」を開いて、今後の利活用を進めていきます。



「バイオマス利活用フロンティア推進事業」の実施

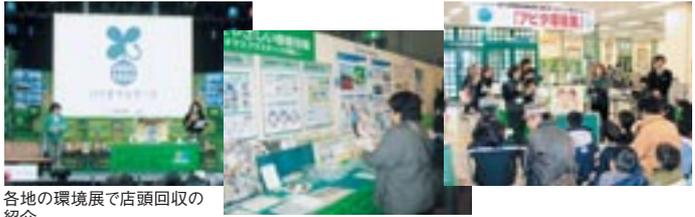




## バイオマスプラスチックの普及活動

### 認知向上のため、各地の環境展で啓蒙活動を実施

バイオマスプラスチックの普及事業として各地で実施した環境展において、環境パネルの展示と併せてバイオマスプラスチック製容器の認知向上のためのアンケートを実施しました。アンケート実施数も昨年に比べて大幅にアップし、その結果から認知されているお客様は確実に増えていることが分かりました。

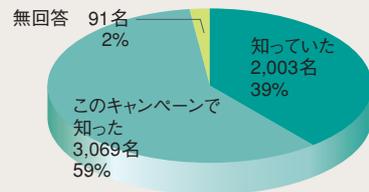


各地の環境展で店頭回収の紹介

### アンケートの結果 ※このアンケートは、卵さらら10個入り・カットフルーツを対象にしたものです。

2008年1月2月に、17県下のアピタ・ユニーのお客様を対象に実施した、はがきの応募によるアンケート調査の結果です。

#### 植物を原料として作られるバイオマス容器を知っていましたか？



#### バイオマスプラスチックはどうして環境に良いのでしょうか？



#### お客様からのご意見・ご感想

キャンペーンをすることにより、あまり気にならなかった人達も、環境にやさしい商品を購入するようになるので良いと思います。

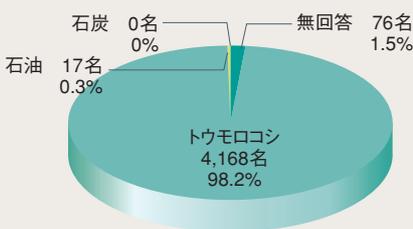
未来の子供達のために今できることを、一人一人がやらなければならないと感じさせる取り組みだと思います。

バイオマスプラスチックの原料はトモロコシでなければいけないのでしょうか。水をたくさん必要とする植物だと聞いています。また日本ではほとんど栽培されていないことも気になります。もっと身近なものが原料にできるとイナと思います。

シール（バイオマスシール）が貼ってある商品をこれからも増やしてください。また1品30円くらいまでなら高くても私にも買えそうです。

消費者も環境にやさしい容器があることを知り、販売者や生産者とともに地球を守るリサイクルができますね。

#### バイオマスプラスチックは何でできていますか？



#### ご家庭で出たリサイクルできるゴミ（牛乳パック・トレイ・アルミ缶・スチール缶・ビン・ペットボトル）はリサイクルBOXを利用しますか？



## 三県一市グリーンキャンペーン

2002年より愛知県・三重県・岐阜県と名古屋市と共催で、「環境にやさしいお買い物」を推進するキャンペーンに参加しています。またユニー独自の取り組みとして、2007年度はバイオマスプラスチック製容器のリサイクルを知っていただくために、卵パックの回収キャンペーンを全地区100店舗を対象に実施しました。



## 堆肥化実証試験

バイオマスプラスチックの特徴である、「加水分解と微生物により、水とCO<sub>2</sub>に分解する」を実証し、さらに土壤に悪影響を及ぼさないかどうかを、愛知県農業総合試験場で調べてもらいました。

この結果が良好であれば、食品リサイクルで堆肥を製造するとき、バイオマスプラスチック製容器ごと食品残渣を堆肥に入れることができます。惣菜や弁当・生鮮食品の分別も容易になり、再生利用が効率的にできることとなります。2008年度には結果が出る予定です。



# 食品廃棄物リサイクルシステム 食品廃棄物 リサイクル

店舗では食品の加工や調理過程、また売れ残りや食べ残しなど、大量の食品廃棄物が発生します。これらを廃棄することなく、循環資源として再生利用するために、ユニーではリサイクルシステムの構築に努めています。特に、2003年から取り組んでいる食品リサイクルループの環を、各地で実施できるように再生利用事業者や農業生産者と一緒に進めています。



## ユニーの方針

### ユニーの食品リサイクルの方針

2001年、ユニー環境部が設立された時点で、食品リサイクル法は制定されており、食品リサイクルをいかに進めるべきかを検討しました。できるだけ環境負荷の少ない、再生資源として有効であり経済的に成り立つシステムを構築することを方針としました。



**1 安全であり環境負荷が少ないこと。**  
(大気汚染・水質汚染を予防し、省エネであること)



**2 再生資源として有効であること。**  
(有価資源になり再廃棄しない)



**3 経費が抑えられること。**  
(公共処理料金との比較)



**4 継続できる方法であること。**  
(リサイクルルートが確立していること)



## リサイクル実績

食品リサイクル率は2007年度実績で34%でした。2006年度に比べ3.8%向上することができましたが、環境目標の40%は達成できませんでした。これは、名古屋市内で計画されていた飼料化の施設の取り組みが遅れてしまったことや、岐阜県の魚アラのリサイクル実施ができていないことによるものです。2008年度は、愛知県尾張エリアの食品リサイクルループの拡大と、遅れている名古屋市の計画が順調に進めば、リサイクル率は5%以上の向上が見込める予定です。

●リサイクル実績の推移 (単位%)



店舗から発生する食品残さ(生ゴミ)	排出量	リサイクル量	リサイクル率
生鮮食品の調理クズ(野菜・果物他) 賞味期限切れや飲食の食べ残し	13,645t	2,455t	18.0%
魚のアラ (魚介類の調理クズや内臓・骨)	3,748t	2,950t	78.7%
食品廃油(揚げ油他)	1,216t	1,216t	100.0%
てんかす	995t	35t	3.5%
合計	19,604t	6,656t	34.0%



## 食品リサイクルの歩み

2001年に食品リサイクル法が施行されるにあたって、ユニーでは各地で「地域循環」を目指し、できるだけ環境負荷の少ないリサイクルの構築に努めてきました。

2000

- 福井市で地域循環堆肥へのリサイクルに取り組む
- 名古屋市内店舗に熱乾燥処理機導入(アビタ新守山店)

2001

- アビタ福井大和田店が地域循環堆肥へのリサイクルに参加

2002

- 茨城県で堆肥へのリサイクルに取り組む
- 愛知県内2店舗に真空乾燥機導入  
(アビタ岡崎北店、アビタ東海荒尾店)

2003

- 富山市内4店舗、富山エコタウンに参加(バイオガスによる発電)

2004

- 長野県(アビタ伊那店)、奈良県(アビタ大和郡山店)の店舗に真空乾燥機導入
- 愛知県内3店舗で愛知経済連の協力により堆肥化及び作物栽培・販売の実験開始
- 三重県で堆肥へのリサイクルに参加(アビタ鈴鹿店)

2005

- 三重県内で堆肥を作って栽培した作物の販売開始  
(アビタ松阪三雲店)
- 愛知県で2店舗(アビタ瀬戸店、アビタ江南西店)乾燥機導入

2006

- 横浜市内3店舗が店舗から排出した食品残さを飼料にして飼育した豚の肉を販売する「横浜有機リサイクル」(登録再生事業)に参加

2007

- 愛知県で構築した「食品リサイクルループ」が1月に食品リサイクル法再生利用計画に認定
- けやきウォーク前橋(アビタ前橋店)、アクアウォーク大垣(アビタ大垣店)に真空乾燥機を設置し、「大根のツマ」をつくるリサイクルループに加わる

2008

- 愛知県一宮市の周辺市町にある、ユニー・ユーストア・サークルKサンクスのユニーグループで取り組むリサイクルループが完成し、食品リサイクル法再生利用事業計画の申請を提出
- リサイクル野菜販売店舗を拡大する計画
- 岐阜県(アビタ御嵩店)に乾燥機を導入し、「大根のツマ」をつくるリサイクルループに加わる予定
- 魚アラリサイクルを全店実施予定



## リサイクルループを構成するパートナーシップ

みんながそれぞれの役割を果たすことによって、リサイクルの環が完成します。食品をムダにせずに、ゴミも減らすことができる、地球に優しいライフスタイルです。

### ●食品関連事業者 食品循環資源を排除する店舗

- 調理クズ、魚アラ、売れ残り、残飯などから異物を排出し、分別、計量する。分別マニュアルの作成。従業員、テナントへの教育の徹底。
- 食品循環資源の品質を確保するために、適正に保管する。廃棄物庫の整備（清掃、冷蔵施設）。保管容器の整備（分別容器、洗浄）。

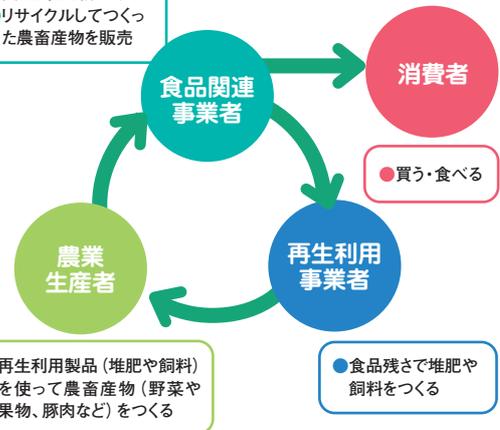
### ●再生利用事業者

- 品質の高い再生製品（堆肥、飼料）を製造する。原料である食品循環資源、製造方法、施設、保管の基準作成と監視。
- 農業生産者のニーズにあった再生製品を製造する。再生製品の販売先を確保し、農業生産者とパートナーシップを図る。

### ●農業生産者 リサイクル農産物を消費者に提供する

- トレーサビリティの確立（生産者の顔の見える農産物）。農業生産者の生産技術と適正な再生製品（堆肥、飼料）によって、安全安心な農産物を提供してもらう。

- 食品残さを排出する
- リサイクルしてつくった農畜産物を販売



## それぞれの役割・責任を果たし、パートナーシップを図る

「安全安心で新鮮、そして美味しい」つくった人の顔の見える農産物をお客様にお届けすることが、ユニーの役目です。

## リサイクルループを構築するために

店舗の所在地で「地域循環型食品リサイクルループ」を構築し、地域の再生利用事業者や農業生産者とパートナーシップを図っていくことがユニーの方針です。

### ●環境担当者の役割●

#### 食品残さをリサイクルするためにパートナーを探す

- リサイクルループで生産した農作物を販売することを目的として、パートナーを探す。再生利用事業者の製造する堆肥や飼料が、農業生産者の利用に適した品質かどうか確認する。
- 再生製品（堆肥や飼料）を利用する農業者を探す。地産地消を前提に、生産技術の高い農業者に主旨を理解してもらい、パートナーになってもらう。

### ●仕入担当者・販売担当者の役割●

#### リサイクル農作物を販売

- 生産された農作物を販売するために、社内で検討する。販売計画を立てる前に、農作物の栽培履歴や品質が販売基準に達しているかどうかを確認する。
- 農業生産者と食品関連事業者がパートナーシップを図る。販売計画に基づいて生産計画を検討して、購入契約を結ぶ。
- 食品関連事業者はリサイクル作物を消費者にその特徴を充分にアピールする。売り場にリサイクルループの主旨説明や、生産者の紹介などを掲示し、「安全安心な農作物」であることを明示する。

## パートナーシップを探すために、紹介者（もしくはコーディネーター）が必要

パートナーシップで最も重要な要素は、お互いの食品リサイクルに対するポリシーが合っていることです。店舗の所在地で「地域循環型食品リサイクルループ」を構築し、地域の再生利用事業者や農業生産者とパートナーシップを図っていくことがユニーの方針です。



### 第1回環境省食品リサイクル推進環境大臣賞 最優秀賞を受賞

食品関連事業者であるユニー（株）は、店舗から排出する食品循環資源（食品残さ）を、環境に配慮し有効にリサイクルするために、堆肥製造者であるヒラテ産業（再生利用事業者）、堆肥を使って農作物を栽培するJA愛知経済連と、食品リサイクルループを構築したことにより、2007年10月、第1回環境省食品リサイクル推進環境大臣賞 最優秀賞を受賞しました。



環境省中部事務所  
関山所長（左）・佐々木会長（右）



### 食品リサイクル推進に向けての取り組み

#### ■JAとの消費者交流会

店舗から排出される食品残さを材料にした堆肥を使って、野菜・果物など農作物を栽培している農家と消費者の交流会を開催しています。食品リサイクルで栽培した農作物などについて、農家と消費者はお互いに情報交換をしました。欲しい野菜の種類など消費者の意見を聞き、農家からはおいしい野菜の選びかたのアドバイスがあり、収穫体験や採れたての野菜でつくった郷土料理の試食など、楽しい交流ができました。



#### ■JAエコ部会総会

食品リサイクルループで農作物を栽培しているJAあいち海部で、エコ部会総会が開催されました。食品残さを材料にした堆肥を使った農作物の栽培は、堆肥の形質や栄養成分などの知識や栽培技術が必要です。そうした知識や技術などの情報交換や、1年間の収穫実績の報告や次年度の栽培計画などを話し合い、更に輸送に携わっている事業者やユニーの青果商品部との意見交換をし、リサイクルループの継続的発展を確認しあいました。



#### ■収穫体験

食品リサイクルループで栽培している米や野菜の収穫体験を子供たちに体験してもらいました。また、食品残さから堆肥をつくる現場では、堆肥の山に手を突っ込んで「熱いね」、堆肥の熟成する臭いを「バクテリアのおならはちょっと臭いね」などの感想が子供たちからありました。初めて堆肥に触れた子供たちは、堆肥で栽培した米や野菜を収穫し、「食物を大切にする」ことを学びました。



## 各地で実施しているリサイクルループの環



## 新しいリサイクルループの環

愛知県一宮市の一般廃棄物処理業D.I.Dの堆肥場にユニーグループ(ユニー・ユースタ・サークルKサンクス)の店舗で排出した食品残さを搬入し、地元JAで野菜を栽培してもらい、店舗で販売します。



## コラム

### 2007年食品リサイクル法改正

- リサイクル率の目標値は業界別に設定されました。改正以前の「排出量の20%以上のリサイクル率」は義務ですが、2012年までに達成すべき目標が決まっています。  
食品製造業—85%  
食品卸業—70%  
外食産業—40%  
食品小売業—45%
- 多量発生事業者には定期報告が義務づけられ、毎年発生した量と取り組み状況を主務大臣に報告します。一定のフランチャイズチェーンは、本部に報告する義務があります。
- 新再生事業計画(食品リサイクルループ)が制定されました。
- 再生利用手法が追加されました。(熱回収、エタノール、炭化)

# 環境負荷

## 事業活動における環境負荷

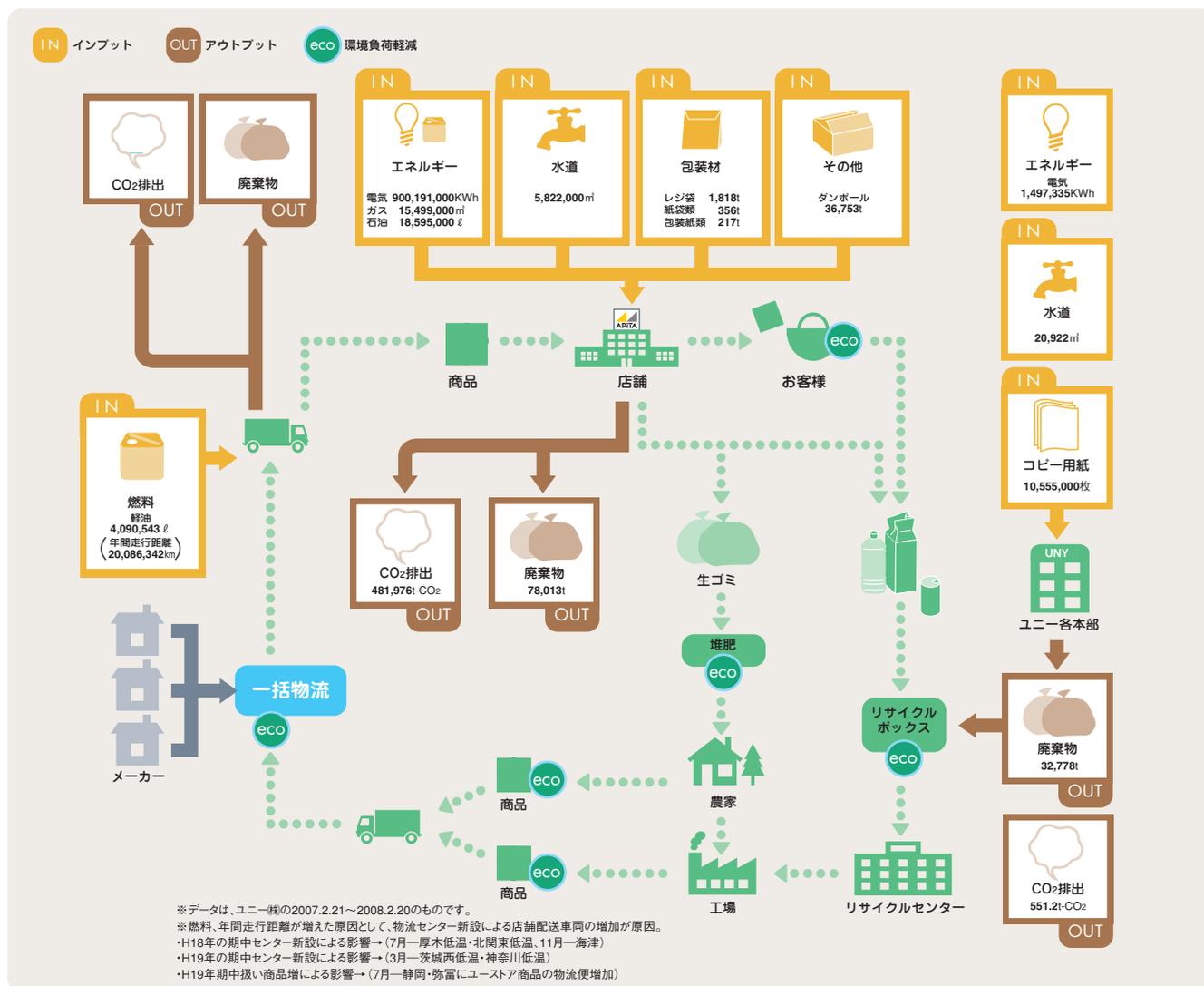
ユニーの各店舗や本社・事務所は、事業活動に伴い、地球環境に影響を及ぼしています。これを環境負荷といいます。環境負荷をできるだけ出さないように、また継続的に軽減していくために環境負荷の実態を調べ、従業員や関係している人々が、それぞれの役割の中で環境活動を実践しています。

### 事業活動の環境に対する影響

ユニーの事業活動の中で環境負荷の大きいものは、店舗のエネルギー使用とそれに伴うCO<sub>2</sub>の排出です。また、商品を工場や倉庫から運んでくるための物流もたくさんの燃料を使用し、排気ガスを排出しています。店舗から毎日排出する廃棄物や、お客様が商品と一緒に家庭に持ち帰る容器包装も大きな環境負荷です。

ユニーはこれらの原因を明らかにし、対策を練り、できるだけ環境負荷の少ない企業になることを目指します。

### 事業活動における環境負荷



業務本部 システム物流部物流担当 **村井秀紀**

物流を見直し、合理的に輸送できるよう物流センターを新設しました。ルートや混載など試行中のため、店舗配送車両が一時的に増加したため、使用燃料(112.3%)、走行距離(105.4%)とも前年より増えてしまいました。今後、大型車両や混載便の運用による便数削減、環境負荷軽減車両などの導入も含め、環境負荷の低減に努めます。



## 省エネルギー・省資源活動

エネルギーを大切に使うことが、CO<sub>2</sub>など温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防止につながるため、省エネ省資源に努めています。しかしながら、節電や節水だけで効果が上がることは期待できません。今後の課題は、空調設備や照明機器、冷蔵冷凍機などの施設に省エネ効果のあるものを導入していくことだと考えています。

### ユニーの省エネルギー活動

#### ■バックヤードの照明

従来は「電気をこまめに切りましょう」と節電を実施してきましたが、現在は「必要な電灯だけを点けましょう」という発想で、省エネ化活動を行っています。店舗のバックヤードの電灯にプルスイッチを取り付け、作業や設置場所の状況を調べ、それぞれに「常に点灯」「必要な時だけ」の表示を付けました。従業員は自分の作業などに必要な時だけスイッチを引く「電灯は要る時点けましょう」を実践し、省エネに努めています。

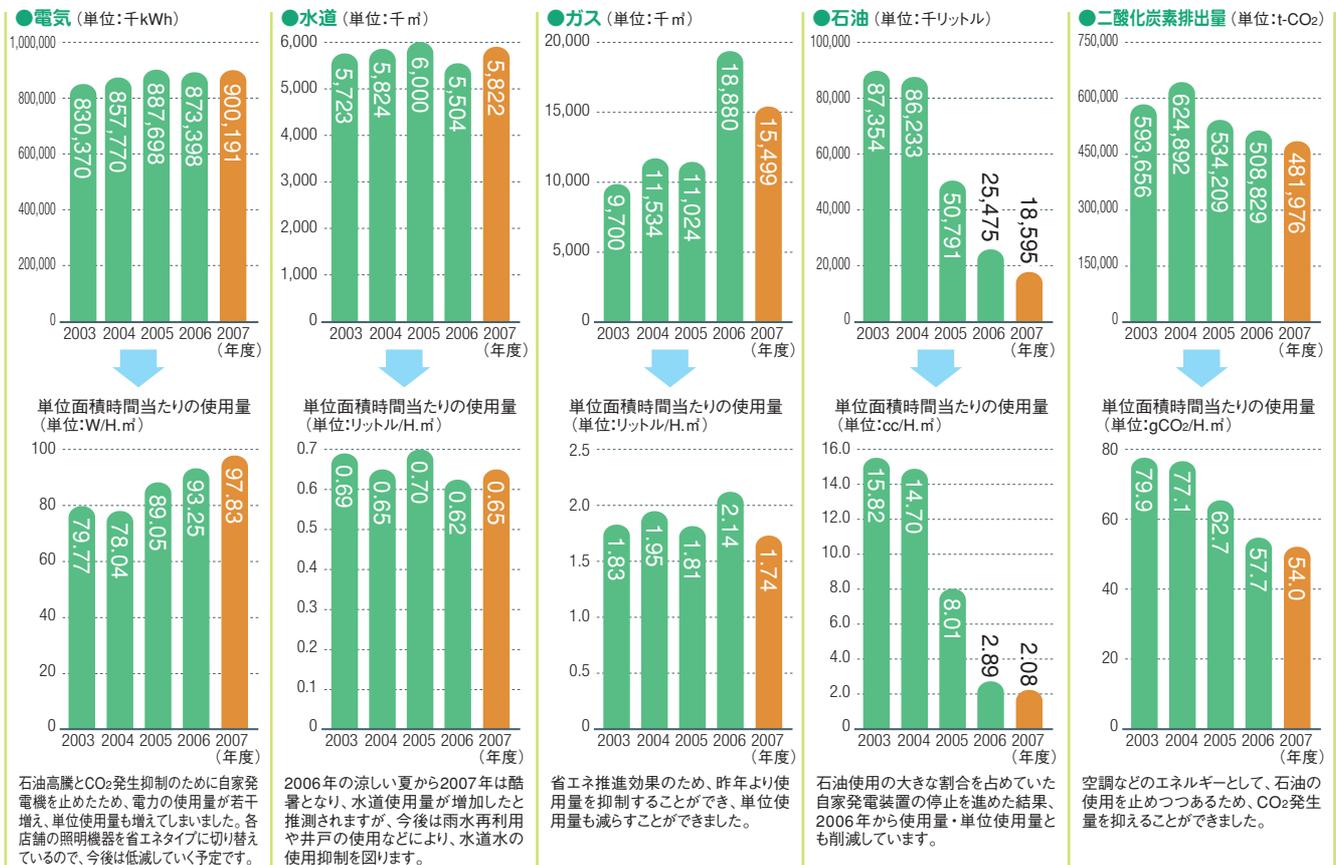


#### ■ブラックイルミネーションの実施

環境省主導の「ブラックイルミネーション2007」に参加しました。これは「CO<sub>2</sub>削減/ライトダウンキャンペーン」の一環で、6月24日の午後8時～10時の2時間、商業施設や家庭などに電気を消すことを広く呼びかけたものです。



### エネルギー使用量の推移



2007年度のCO<sub>2</sub>の換算係数は下記より換算しました。  
 電気：「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令（平成十八年経済産業省環境省令第三号）」に基づいた経済産業省環境省告示第三号 官報4676号）水道：独立行政法人国立環境研究所「水道に関するCO<sub>2</sub>排出源単位の算定根拠」（環境省奨励）  
 ガス・石油：温室効果ガス排出算定・報告マニュアルVer.1.1 平成十八年経済産業省環境省に基づいた「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」  
 ※データは、各年度ともユニー棟 当年2月21日～翌年2月20日までのものです。



# 廃棄物や容器包装を削減する取り組み

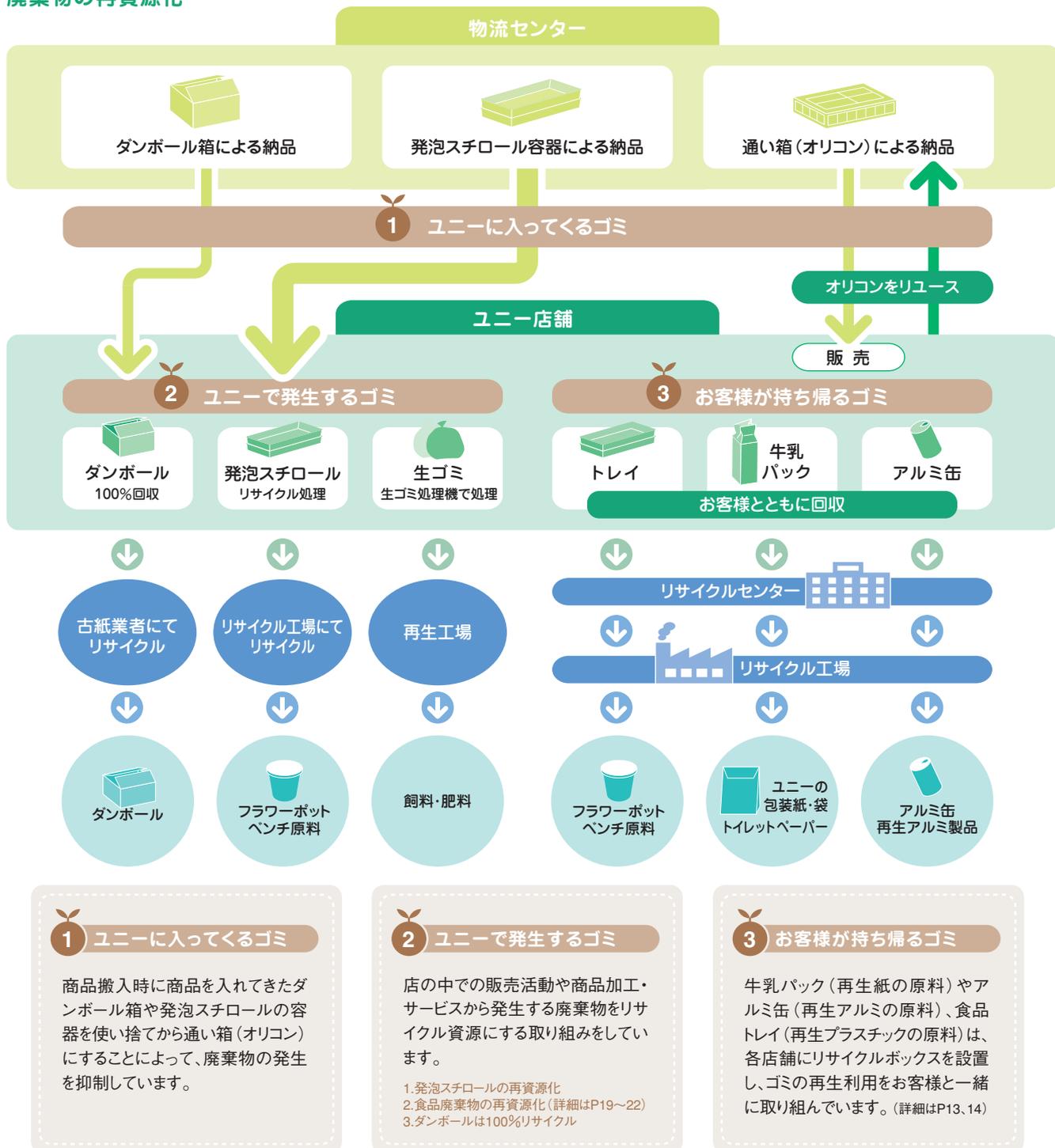
## 廃棄物削減

企業活動していく上で廃棄物が発生しています。できるだけ発生抑制するために、廃棄物の発生元や種類を適正に捉える必要があります。ユニーは店舗に廃棄物計量器を設置し、排出場所・分類別に計量することにより、廃棄物の削減に努めています。また、家庭に持ち帰るとゴミになる容器包装をできるだけ削減し、店頭回収によるリサイクルを推進しています。



### 廃棄物削減のための取り組み

#### 廃棄物の再資源化



#### 1 ユニーに入ってくるゴミ

商品搬入時に商品を入れてきたダンボール箱や発泡スチロールの容器を使い捨てから通い箱(オリコン)にすることによって、廃棄物の発生を抑制しています。

#### 2 ユニーで発生するゴミ

店の中での販売活動や商品加工・サービスから発生する廃棄物をリサイクル資源にする取り組みをしています。

- 1. 発泡スチロールの再資源化
- 2. 食品廃棄物の再資源化(詳細はP19~22)
- 3. ダンボールは100%リサイクル

#### 3 お客様が持ち帰るゴミ

牛乳パック(再生紙の原料)やアルミ缶(再生アルミの原料)、食品トレイ(再生プラスチックの原料)は、各店舗にリサイクルボックスを設置し、ゴミの再生利用をお客様と一緒に取り組んでいます。(詳細はP13、14)



## 2007年度年間廃棄物排出量

### 店舗における廃棄物排出量

ユニーでは、廃棄物排出量削減とリサイクル推進のために、店舗から排出される廃棄物を17種類に分別しています。また、排出場所ごとに分別した廃棄物を計量し、廃棄物の排出責任を明確にしています。分別の徹底と計量実施の結果、2004年より総排出量は毎年削減してきています。

分別を進めることにより、焼却ゴミが減り、再生できる紙類やビニール（プラスチックフィルム）が増加してしまいましたが、これらはリサイクルできるので再生資源として利用できます。しかしながら、ダンボール・発泡スチロールなどの商品入荷時の容器包装が増加した事は、物流時の容器包装の見直しを今一度検討しなければならぬと考えています。

### 廃棄物計量システム



廃棄物は排出場所・分別毎にバーコードで管理します。



計量器に載せ、重量を測ります。

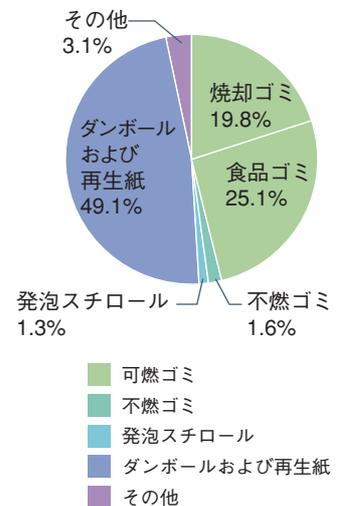


シールを発行します。同時にデータは事務所の端末に記録、集計され、本社環境社会貢献部の端末に送信されます。テナントや売場には毎月集計された結果が告知されます。

(単位:kg)

区分	種類	2005年度	2006年度	2007年度	
可燃ゴミ	焼却ゴミ	一般可燃ゴミ	11,944,417	11,363,301	11,278,177
		ビニール(食品系)	5,468,528	4,473,957	4,152,803
		小計	17,412,945	15,837,258	15,430,980
	食品ゴミ	生ゴミ	15,811,962	14,885,741	13,644,825
		魚のアラ	3,714,642	3,568,186	3,747,896
		てんかす	899,429	988,113	995,900
		食用廃油	1,322,161	1,262,589	1,216,312
小計	21,748,194	20,704,629	19,604,933		
不燃ゴミ	ビン	611,612	795,980	749,557	
	缶	539,657	530,653	490,236	
	小計	1,151,269	1,326,633	1,239,793	
発泡スチロール		1,529,029	997,262	1,023,539	
ダンボールおよび再生紙	ダンボール	35,266,611	36,395,499	36,753,040	
	紙類(再生可)	1,484,058	1,317,484	1,540,349	
	小計	36,750,669	37,712,983	38,293,389	
その他	プラスチック	422,732	594,698	514,977	
	ビニール(衣住系)	1,151,269	850,875	887,923	
	ペットボトル	206,869	292,774	288,644	
	陶器、ガラス	161,897	118,940	112,708	
	金属カス	89,943	155,536	155,776	
	その他	386,755	503,206	459,997	
	小計	2,419,465	2,516,029	2,420,025	
合計		81,011,571	79,094,794	78,012,660	

### 2007年度 廃棄物の構成



※データは、各年度ともユニー(株) 2007年2月21日～2008年2月20日までのものです。



# 店舗での取り組み

## ユニー各店舗での取り組み

年齢や性別、障害の有無にかかわらず、すべてのお客様が快適にお買い物できるよう、ユニーでは店内各所にさまざまな工夫を凝らしています。

さらに、地域の方々と力を合わせて包装資材の削減や廃棄物の削減・分別などを実施し、環境保全に貢献しています。



## 環境に配慮した設備や工夫

“環境に配慮した店づくり”を目指しているユニーの店内では、ゴミ減量、リサイクルや省エネを推進するため、さまざまな設備を用意するとともに、販売方法にも工夫をしています。特にお客様とともに進めるゴミ減量に関しては、お客様が利用しやすいようにリサイクルステーションや、各所に分別ゴミ箱を設置しています。

### 1 リサイクルステーション

牛乳パックをはじめ、アルミ缶、トレイ、ペットボトル、バイオマスプラスチック、卵パック等お客様がお買い上げ後にゴミになるものを回収し、リサイクルしています。



### 2 分別ゴミ箱

店内各所に「燃やせるゴミ」や「燃やせないゴミ」など分別したゴミ箱を置き、ゴミを分別回収しています。



### 3 リサイクル処理機

生ゴミは肥料、発泡スチロールはプラスチックチップなど、再生資源としてリサイクルを行っています。



### 4 環境配慮商品

原料・製造工程・使用時・容器包装廃棄時などに、環境負荷を低減した環境配慮商品を開発・販売しています。



### 5 情報の開示

ユニーの取り組みをポスターなどで紹介・報告しています。



### 6 廃棄物計量システム

各売場やテナントから排出される廃棄物を分別し、計量することにより、減量やリサイクルの促進を図ります。





## ユニバーサルデザイン

### 7 多目的トイレの設置

車椅子でご利用いただけるトイレです。また、妊婦の方やお年を召した方もご利用いただけます。



### 8 段差のない入り口

駐車場と店内の段差をなくし、公道入り口から各玄関まで誘導ブロックを設置しました。



### 9 車椅子専用駐車場

入り口の近くに、車椅子専用駐車場を設置しました。



### 10 車椅子の無料貸し出し

店内でご利用いただける車椅子をご用意しています。



### 11 優先エレベーター

混雑時などに車椅子の方が優先的にご利用いただけます。音声案内・点字表示をし、低い位置に操作ボタンを付けました。



### 12 介添えサービスの実施

1階各出入り口にインターホンを設置し、お呼び出しによって介添えサービスのご要望にお応えします。



### 13 AED(自動体外式除細動器)

不測の事態に備えてAEDを設置しました。



## お子様連れの方への配慮

### 14 小さなお子様の遊び場

小さなお子様に、安全に遊んでいただけるように、床や遊具にソフトな素材を使用した遊びのスペースを設けています。



### 15 ベビー休憩室(赤ちゃんルーム)

お子様の授乳やおむつ替えにご利用いただけるベビー休憩室(赤ちゃんルーム)を設けました。



### 16 男性用トイレにベビーシート設置

男性用トイレにもベビーシートを設置しました。



## よりよく利用していただくためのサービス・工夫

### 17 アピタのおいしい水

飲料やお料理に使用していただける浄水機を設置しました。



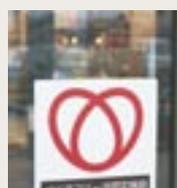
### 18 危険防止の工夫

危険防止のために、店内の階段には手すりを付け、足元に誘導ブロックを設置しました。



## コラム

### バリアフリー新法



ユニーはすべてのお客様に快適にご利用いただける店づくりに取り組んでおります。バリアフリー新法とは、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」で、平成18年12月20日に施行されました。



環境にイイこと、プラス。

# 環境配慮商品

地球温暖化を防止するには、お客様にいつも使っているものを

「環境負荷が少ない」という視点で選んでいただくことも大切です。

ユニーでは原料や製造過程、使用時の環境負荷を低減した商品をお客様に購入していただくことが

地球環境を守ることに繋がると考え、そうした環境配慮商品の品揃えや商品開発に努めています。



## 環境に配慮したオリジナル商品「eco!on」(エコオン)

環境負荷の少ない商品や、再生資源を原料とした商品、リサイクルできるパッケージなど、環境に配慮した商品が出回っています。

そこで、それらの商品がどのように環境に配慮しているかを、消費者に具体的に表示することが求められるようになってきました。

ユニーでは、説明責任を果たすことのできる内容の環境配慮商品「eco!on」(エコオン)を開発し、販売しています。

### 環境対応・環境負荷を評価します。

ユニーは、PB(プライベートブランド)・SB(ストアブランド)商品の中で、特に環境に配慮した商品を、サブ・ブランド「eco!on」(エコオン)として、愛・地球博のマスコットキャラクター「モリゾー・キッコロ」を商品やパッケージ、あるいはタグにつけて販売しています。このユニー独自のロゴ「eco!on」(エコオン)は、外部の専門家(大学教授・消費生活アドバイザー理事・環境総合研究所代表の皆様)による「第三者審査委員会」により評価のうえ認定されています。

「eco!on」(エコオン)は  
第三者審査委員会で  
認定されています。



第一回ecolon審査会



アローザトイレットペーパー



特別栽培の無洗米



カルキュロ エコ 紳士用ドレスシャツ



オーガニックコットン ブレンドカットソー



モリゾー・キッコロ ショッピングバッグ

このタグが  
目印です!



評価・認定を受けた商品のみ  
「eco!on」(エコオン)として販売!



住関本部ヘルスビューティー部 バイヤー 千葉 哲志

「アローザ」  
回収牛乳パック使用  
再生紙トイレトペーパー



アローザの特徴は「地球環境に優しい高品質」なトイレトペーパーといえるでしょう。トイレトペーパーの品質を追求すると木材パルプを使用することとなります。しかしアローザは、木材パルプとほぼ同等の原料である「牛乳パック」を使用することで、木材パルプを使用せずに高品質なトイレトペーパーを作ることを可能としています。木材パルプを使用しない、つまりこれは立木を1本も切らずに済むことを意味します。

またこの牛乳パックの一部はユニー・アピタの店頭で回収した牛乳パックを含んでおり、循環型環境配慮商品ともいえます。

もう一つの特徴はその製造工程にあります。工場内での製紙排水から発生する廃棄物を焼却炉で燃焼させ、その焼却灰を製鉄所での保温材や鎮静剤として売却しています。また牛乳パックからはがし取った廃ポリエチレンを焼却し、その排熱をボイラーで熱回収（蒸気）することによって紙を乾燥させる際に利用しています。

アローザは原料から生産、消費者の牛乳パック回収に至るまで環境に配慮した商品です。



衣料本部メンズ部 チーフバイヤー 大竹 浩之

「カルキュロ エコ」  
紳士用ドレスシャツ  
リサイクルポリエステル使用



この商品には、よこ糸に帝人ファイバー（株）の吸水速乾糸「カルキュロ」が使用されています。その「カルキュロ」の原料を、回収された繊維製品などのリサイクル原料に置き換えました。石油から作るポリエステル原料と比較して、リサイクル繊維から作るポリエステル原料の製造工程から発生するCO<sub>2</sub>は、77%削減しています。

また、「カルキュロ」は異形断面構造の特殊糸です。従来のポリエステルのリサイクル技術では、ポリエステルの純度の関係で特殊糸は生産することが出来ませんでした。しかし、帝人ファイバー（株）がケミカルリサイクルの技術を活用し、今回世界ではじめて特殊糸のリサイクル原料化に成功しました。リサイクル原料を使用することはコストアップ要因となりますが、販売価格は従来からの「カルキュロ」使いの商品と変更していません。

環境に配慮したからといって、お客様からそのコストをご負担していただくということでは、我々の仕事の価値が落ちてしまいます。我々や取引先様の企業努力でそのコストアップ要因を吸収し、お客様にご負担をかけないようにすることが、我々の責務だと思います。



家電リサイクル

家電リサイクル券取扱優良店の認定

家電品売場のお客様の目につきやすい場所にポスターを貼ったり、販売スタッフがきちんと説明したりするなどして、家電リサイクル法に対するお客様への理解を深めています。そうした取り組みもあって、(財)家電製品協会から「家電リサイクル券取扱優良店」の認定を受けることができました。



環境に配慮した家電製品を取り扱っています。

- 省エネ法に定められた基準に対する達成率を「省エネ性マーク」で商品に表示しています。
- 家庭用冷蔵庫は、地球温暖化への影響が極めて少ないノンフロン冷媒を使用したものを販売し、地球にやさしいお買物をお客様と一緒に進めています。

省エネ性マーク



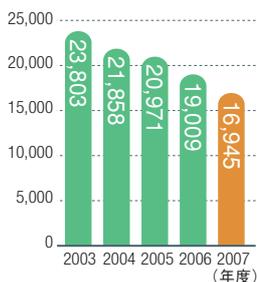
このマークは、省エネ性を明示するものです。%の数値が大きいほど省エネ性が優れています。



このマークは、省エネ基準を達成した機種を示します。

家電リサイクル状況

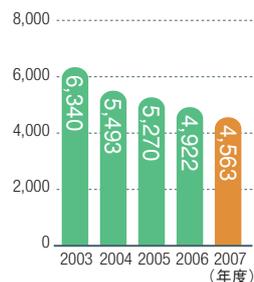
●ユニー全体 (単位:件数)



●中京本部 (単位:件数)



●関東本部 (単位:件数)



●静岡本部 (単位:件数)



●北陸本部 (単位:件数)





# ピック・アップ・ストア（アピタ大垣店）

## アピタ大垣店における環境への取り組み

中京地区初のモール型ショッピングセンター「アクアウォーク大垣（アピタ大垣店）」は、地域の皆さまに愛される憩いの場となるべく、2007年10月にオープンしました。松尾芭蕉の「奥の細道」の終着地であり、古くから水の清らかな「水の都 大垣」でお客様と一緒に環境活動に取り組み、さらにシティセンターとしての役割を果たすよう努めていきます。



### 施設紹介

topics

#### レジ袋 市民の森

岐阜県大垣市民の皆さんと一緒に、モール正面に植樹しました。この森は、大垣市民のレジ袋削減活動の「レジ袋ないない大運動会」との協働で実施したものです。植樹に参加された市民の皆様のお名前が記載された掲示板を設置しました。

また、「レジ袋 市民の森」に風力・ソーラー発電機「そよ風くん」を設置し、夜間照明の電力に利用しています。

レジ袋市民の森



植樹の様子



大垣市小川市長と一緒に



そよ風くん



### ●環境に配慮

#### ■食品リサイクル

店舗から排出される食品残さ（生ゴミ）を真空乾燥機を使って乾燥させ堆肥の原料にします。この堆肥で栽培した大根で刺身のツマを作り販売するリサイクルを実施しています。



#### ■省エネ空調

ガス吸引式冷温水発生機を設置し、できるだけエネルギーを使用しない冷暖房を実施することにより、地球温暖化防止に努めます。



#### ■アクアロード・アクアコート・アクアホール

地域のみなさまの健康増進やイベント、文化活動などに使っていただけるコミュニティ施設を店内に設置しています。この施設をご利用いただき、地域活動を支援していきます。



### ●小さなお子様に配慮

#### ■垣っ子クラブ（子供図書館）

お買い物に来られる時に気軽に立ち寄っていただける「子供図書館」を設置しています。子供たちに本に親しんでもらうために、地元ボランティアと協力して運営しています。



#### ■ほく&わたしのトイレ

子供図書館の近くに、幼児専用のトイレを設置しました。ひとりで用が足せるようにお子様サイズのトイレ機器や手洗いを用意しています。





## 市民の皆様に愛される憩いの場所に

アピタ大垣店と、ショッピングモール「アクアウォーク大垣」は、大垣市のシティーセンター的存在になることを目指しています。JR大垣駅北口に、大きなクスノキのシンボルツリーと風力ソーラー発電機「そよ風くん」を正面に設置した、市民の皆様に愛される憩いの場となるべく2007年10月にオープンしました。

クスノキの周りに植えられた「レジ袋 市民の森」の木々は、環境活動に関わる市民の皆様がオープン前に植樹してくださったものです。

アクアウォーク大垣は「お客様にあてにされる品揃え」「頼りにされるサービス」を提供し、環境保全活動や地域貢献を果たしていきます。特に、モールとしては全ての年代層に愛されるよう、クリスマスやバレンタインデーなど社会慣習やお祭りなどの地域イベントへの参加を通じて、地域一番を目指し、また地域イベントには積極的に参加していきます。

アクアウォーク大垣は、ここに来店される次世代の子供達が大人になった日にもずっとここにあり、大きく育った「レジ袋 市民の森」を訪ねていただけるような、大垣市のランドマークにしていくことが私の努めです。



支配人  
辻 英行

## シンボルツリーとレジ袋 市民の森

「アクアウォークができる前からここにあったクスノキを切らないで……」と、オープン前から市民の皆様から要望がありました。また、大垣市の環境を考える市民と市でつくる大垣市民環境会議では、「レジ袋を辞退して得たポイント」で木を植える活動を通して、「アクアウォークにレジ袋 市民の森をつくりましょう」と植樹をしてくださいました。

## 家族と一緒に楽しめる、素敵な空間に

アクアウォーク大垣の魅力は、家族一緒に楽しんでいただけることです。30歳代の両親とそのお子様、おじいちゃんおばあちゃんの三世代揃って来店していただき、お買い物だけでなく、イベントなどでも楽しんでいただけるよう努めています。

お子様中心のイベントなど、特に何か作ったり、体験したりできる参加型イベントはとても人気があり、今後もこのようなイベントを開催していきたいです。

また、モールの専門店の中でもぜひお立ち寄りいただきたいのが、書店と旅行会社とカフェがコラボレートした「ブックツーリストカフェ」です。カフェスペースで本を読んだり、旅行のプランを立てたりすることはもちろんですが、書店のガイドブックと旅行会社のパンフレットを見比べることもできます。アクアウォークの人気スポットのひとつになっています。

アクアウォーク大垣では、いつも新しい発見や季節が感じられるモールにしていくために、ディスプレイやBGMにも力をいれています。ビッグイベントのクリスマスなどには、最大級のツリーの設置やイルミネーションなどで、来て見て楽しんでいただける素敵な空間を作っていきます。



モールマネジャー  
高橋 鹿子

## 環境にも、人にもやさしい店づくり

アクアウォーク大垣は、どなたにもおいでいただき、楽しんでいただけるよう「バリアフリー」や環境に配慮した店づくりと、それが十分に生かされる運営を行っています。既存店では、「車椅子対応駐車場を一般の方が使用するために、必要な方が使えない」という問題がありましたが、この店ではフラップ方式を導入したことで解決しました。また、各出入口に設置している「介護の必要な方」のためのインターフォンも十分に活用され、担当の従業員がお買い物のお手伝いをしています。心臓発作時に必要なAEDも設置しただけでは役に立たないので、全社員が消防署のご協力で講習を受け、いつでも対応できるよう備えています。

このように、バリアフリーも設備のハード面だけでなく、これらを有効に使いこなすための教育、ソフト面での運用をしていくことが私の努めです。

環境保全では、店正面のレジ袋 市民の森と広場に、風力ソーラー発電外灯「そよ風くん」を設置し、リサイクルボックスで回収したトレイを再生利用したベンチを置いて、皆様に憩いの場としてご利用いただいています。

また、お客様と一緒に進める環境活動として「レジ袋有料化」を2008年3月より実施し、容器包装店頭回収とともに、家庭から出るゴミを削減するようにしています。店内から排出するゴミは、生ゴミを堆肥化して野菜を栽培するリサイクルシステムをはじめ、ダンボールやプラスチックなども、できるだけリサイクルするようにして廃棄する量を抑制しています。

地域貢献では、アクアウォーク大垣の自慢のひとつ「垣っ子クラブ」子供図書館があります。ここは従来の店が専門家を雇用して運営するのではなく、地元ボランティアの方たちと一緒に運営しています。ここには子供達だけではなく、ご両親やおじいちゃんおばあちゃんも一緒に本を選んだり読み聞かせたりしてご利用いただいています。今後は、ここでイベントやお母さん方の交流会など「子育て支援」の場としても活用していきます。



業務担当  
グループマネジャー  
武藤 吾郎

## 話題性のある、魅力あふれる場所を目指して

「水の都 大垣」にある135の専門店で構成されるアクアウォーク大垣は、地元のお客様に支持されるモールを目指しています。

そのために、モールを構成する専門店と協力し、たくさんのお客様に来店していただける魅力ある品揃え、心配りのあるおもてなし、楽しいイベントなど、全ての要素が整ったモールにしていきたいです。

特にイベントも社会性のあるもの、旬な話題性のあるものを開催し、（最近では、オリンピックゴールドメダリスト、イアン・ソープ選手やアルピニスト野口健さんの講演など）たくさんのお客様に参加していただきました。

また、アクアウォーク大垣が今後もずっと、お客様に喜んでいただけるサービスを提供していくために、アピタ・モール専門店の従業員の教育を継続していき、高いレベルでのマナーやサービス、モラルの向上にも努めていきます。



モールチームマネジャー  
遠藤 純生



# 子供環境学習 環境について 学ぶための取り組み

現在のことだけではなく未来のことも考え、未来の子供達そして地球の生き物のために、美しい自然を残していくこと。それが持続可能な環境学習の目的です。ユニーでは次世代を担う子供達を中心に、お客様・従業員に持続可能な社会を構築していくための環境学習を実施しています。また、自社だけではなく地元NPO、企業、行政機関とのコラボレーションによる環境活動を推進しています。



## エコロお店探検隊

ユニーでは、2002年より小学校4年生から6年生を対象に「エコロお店探検隊」を開催しています。次世代を担う子供たちが大人になった時に、CO<sub>2</sub>が削減されて低炭素社会が実現されるために、「自分はどんなライフスタイルを選べばよいのか」を判断ができる大人になってもらうことが環境学習の目的です。

この環境学習の内容は、低炭素社会構築の重要な要素になる「環境に配慮した消費者（グリーンコンシューマー）」育成のためのプログラムや、ユニーが店舗で実施している環境活動の見学、廃物利用等のリサイクル工作などです。子供達の好奇心を大切に、楽しみながら環境問題に興味を持ってもらい、毎日の生活の中で「私にできること」から実践していってほしいと考えています。

### 「エコロお店探検隊」環境学習の内容

店舗管理職・地元NPO・一般の方たち・本社スタッフがインタープリター（案内役）になって、実施しています。

#### ゴミの行方

##### ● 廃棄物庫

店舗から排出されるごみを「混ぜたらごみ、分ければ再生資源」と、分別・計量・保管している状況を見学し、リサイクルの仕組みを学習します。



##### ● リサイクルステーション

家庭から排出されるごみ（容器包装）を店頭回収している所を見学し、使用済み容器包装をリサイクルすればゴミではなく再生資源になることを学習します。



#### 環境にやさしいお買い物

● 「省エネ省資源」「再生利用」「環境を汚さない」などの環境配慮商品売り場から探したり、レジ袋を使わないお買物を体験します。

● 地産地消、フードマイレージなどを調べます。



#### 私達にできること

● 毎日の生活の中で「地球環境のために自分ができる」を考えて、実行を宣言します。



## 農業体験

私達の毎日の食卓に並ぶ食物は、どのように作られているのか。ユニーが推進している食品リサイクルループの仕組みを見学したり、田植えや収穫体験を通して「たくさんの生物と一緒に生きていること（生物多様性）」や「食べ物を大切にすること」を学びました。

### JAあいち海部での農業体験

ユニーと一緒に食品リサイクルループの農業を実践しているJAあいち海部で、食品残さでつくった堆肥を使って栽培した作物の農業体験をしました。



### (有)三功の循環型農業の見学

ユニーの店舗から排出される食品残さを使って堆肥を作り、それを使った栽培の仕組みを見学しました。生ゴミでどうやって堆肥をつくるのか。堆肥の製造過程で発熱することや、発酵するときの臭い、完熟堆肥の手触りなどを実際に体験した後、できた作物の収穫をしました。





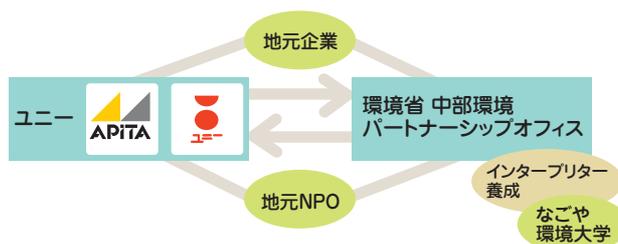
## 夏休み自然探検隊

白川郷トヨタ自然学校での自然探検隊も4回目になりました。「環境のためにわたしのできること」の宣言に応募した小学校4年生から6年生の子供達20名が、世界遺産白川郷の「先人達の知恵」と自然と共生しながら「未来への技術」を体験してきました。



## 地元NPO・企業とのコラボレーション

ユニーは地元NPOや企業とのコラボレーションによる環境学習を開催しています。「環境省中部環境パートナーシップオフィス」と一緒に地域の環境学習の環づくりを推進し、ESD（持続可能な社会を構築するための教育）の実践を目指しています。



### 地元NPO・企業とのコラボレーション

ユニーの店舗の近くで活動しているNPOと一緒に、店舗を会場にして環境学習を実施しました。ユニーはNPOに「店舗」を活動の場として提供し、子供達は地域の中での環境保全について学ぶことができました。（名古屋市、福井県、石川県、三重県、長野県、富山県の6会場で開催）



### 地元企業とのコラボレーション

中部電力（株）との共催で、地元NPO中部リサイクル運動市民の会と一緒に「環境にやさしいお買い物」「エコッキング」を実施しました。アピタ長久手店の環境活動をラリー形式で体験したり、従業員の用意した紙芝居を見たりと、店舗従業員との交流もできました。



### インタープリター養成

NPOメンバーや学生、一般の方が「お店探検インタープリター」となり、小売業の環境活動やグリーンコンシューマー育成、食品リサイクルの理解などを深め、市民講座「なごや環境大学」に参加しています。ここで養成したインタープリターがユニーの子供環境学習で活躍しています。



環境省 中部環境パートナーシップオフィス チーフプロデューサー  
新海洋子さん

EPO中部は環境省が設立した地域の企業・行政・NPO・市民と協働して、環境問題の解決に繋がる活動を支援している拠点です。これまで北陸・東海・長野の店舗で地域NPOや店舗従業員、一般市民の皆さんと協力し、店舗を活動の場にして創意工夫あふれる学びと体験を環境学習で実施してきました。さらに今年から、ユニーの協力で「お店インタープリター」という環境学習指導者を育成する講座をなごや環境大学と一緒に開催し、各地で環境学習の開催ができることを目指しています。お店は物を買う場所だけでなく、子供達にとって発見、創造、学びの場となります。日常の暮らしと環境を結びつけるおもしろい素材に溢れています。

これからも子供達が楽しみ、驚き、そして「環境のために自分ができること」を大人も見つけられる場を、ユニーの従業員・地域NPO・インタープリターたちとじっくり話し合いながら作り上げていきます。



プランニングオフィス ラグーン  
（子供環境学習用教材・ホームページを作成）  
林 ゆかさん

私達は企画・デザイン会社として「未来の子供達に美しい自然を残したい」という趣旨に共感し、子供を対象とした環境学習・ホームページの「やさしい暮らしダイアリー」の作成を通じて、ユニーの環境への取り組みを消費者のみなさんに伝えています。子供環境学習では、参加されたお子様が食品リサイクルの堆肥を触って「熱いね」と感じたり、収穫したトマトを「本当は嫌いなんだ」と言いながらかぶりついたり、「リサイクル」や「食育」をリアルに体験します。

楽しい体験は誰かに伝えたいくなります。一人の子供が家族や友達に伝えることによって、その環がどんどん広がっていくことを期待しています。



# 社会貢献・地域貢献

ユニーは企業活動をさせていただいている感謝の気持ちで、社会にお返しをしていきたいと考え、社会貢献活動を行っています。

特に、店舗では「お買い物の場」という役割だけではなく、「地域のコミュニティーセンター」として地域の発展のために努めています。



## 募金活動

### バン格拉ディッシュサイクロン被害支援募金 (2007年11月23日～12月9日)

ユニーは従業員による、サイクロンの被害を受けたバングラディッシュ被災者への支援募金を行い、5,438,749円を日本赤十字社へ復興支援に活用されるよう寄託しました。

### ～森をつくろう～「麒麟淡麗〈生〉」 緑の募金デザイン缶 (2008年6月13日)

ユニー、ユーストア・サークルKサンクスは、麒麟ビール株式会社とのタイアップで3月18日より限定発売した「麒麟淡麗〈生〉緑の募金デザイン缶」の売上の一部(1缶あたり2円)1,536,000円を社団法人国土緑化推進機構の「緑の募金」に寄贈しました。

ユニーグループでは麒麟ビールの協力により、森林保全活動をテーマにしたデザイン缶を発売することで、より多くのお客様に“森の大切さ”を考えるきっかけにしたいと、さらに募金を森林作りに役立てていただきました。



### 中国四川省大地震被災者支援募金 (2008年5月14日～6月1日)

ユニーはユーストア・サークルKサンクスと合同で、ユニーグループとして「中国四川省大地震」の被災者支援に向けて、6,366店舗で募金活動を実施しました。寄せられた店頭募金にユニーグループ従業員募金を合わせて、47,895,020円を日本赤十字社へ寄託しました。



日本赤十字社大塚副社長(右)  
ユニーの前田取締役(左)

### 国連世界食糧計画(WFP)への協力

ユニーは国連WFP協会参加企業として、世界の飢餓と貧困を撲滅するために、社内外で啓発活動、募金活動を行っています。現在、世界には64億人の人口を養うに十分な食糧があるにもかかわらず、8億5千万人以上が飢えに苦しみ、6秒に一人の乳幼児が飢餓で亡くなっています。

ユニーではWFPの子供を対象にした「学校給食プログラム」を支援し、次世代につながる「成長や教育を目的とした食糧援助」活動を実施しています。

### 愛の1円玉募金

各店舗店頭で愛の募金箱を設置し、お客様・お取引先様・従業員に善意の募金を募っています。集まった募金は、地域の福祉協議会や福祉団体へ寄贈しています。

関東地区	2,005,398円
静岡地区	835,392円
中京地区	5,551,345円
北陸地区	879,240円
合計	9,271,375円



学校給食は1食あたり  
およそ20円です。



学校給食用ビスケット  
(1袋20円)



## 社会貢献活動

### リサイクルバザー・盲導犬チャリティバザー

ユニー大曽根店は「なごや消費者団体連合会」と共催で「リサイクルバザー」を開催し、お客様の家庭で眠っている品物をお持ちいただき、欲しい方に販売しました。また、隣接した会場でサンプル商品などを販売し、収益金を「中部盲導犬協会」に寄付しました。



### ハート・トゥー・ユーキャンペーン

車椅子をご利用の方や妊婦の方、けがなどでお体が不自由な方の優先駐車場に、「健常者の方が駐車していて、使用できずに困る」というお客様からの声が寄せられることがあり、対策に困っていました。そこでユニーでは、障害者支援活動を実施しているNPOと協働で、優先駐車場の利用に対する意識向上を目的とした「ハート・トゥー・ユーキャンペーン」を大型店舗で定期的に開催しています。

このキャンペーンに賛同していただいた方には、NPOで作成したオリジナルステッカー「私は車いす駐車場に停めません」を購入していただき、自己宣言として車に貼っていただいています。従業員もキャンペーンに協力し、身体の不自由な方に快適なお買い物ができるように努めています。



### 愛の救援衣料キャンペーンの開催

アピタ千代田橋店で「名古屋を明るくする会」との共催で、「愛の救援衣料キャンペーン」を開催しました。750名のお客様に「家庭で眠っている衣料品」を持ち寄っていただき、23tの衣料品が集まりました。これらは神戸にある「日本救援衣料センター」まで搬送し、そこからアジア・アフリカの必要とされる地域に送られ、利用していただきます。



### 「家族の食卓」セミナー

NPO幼児教育従事者研究開発機構と共催で、アルピニスト野口健さんのトークショー「地球に優しい、体に優しい食卓エコライフ」をアクアアウォーク アピタ大垣店で開催しました。エベレストや富士山の清掃登山で有名な野口健さんが、世界各地で体験した「食糧環境」の実態や、地球環境の危機など、ワールドワイドな話題から日常の食卓まで、幅広い話題で聴衆のお客様や従業員に「身近なことから地球環境を考える」ことをお話していただきました。





## 地域活動への参加

### 「あいち・出会いと体験の道場」アピタ東海荒尾店

愛知県の中学生在が、職場体験を通して社会の一員としての自覚を持つために、2006年より「あいち・出会いと体験の道場」



が行われています。生徒の受け入れに協力した愛知県東海市のアピタ東海荒尾店を神田愛知県知事が訪問し、生徒を激励しました。また、同店は事業所として第1号となる「道場の応援団」に認定されました。認定証の授与式では、「職場体験の受け入れに対し、心から感謝している」と神田知事より志村店長に感謝の言葉をいただきました。

### 子供図書館

「より身近な場所で子供達が気軽に本と出会えれば」という目的で、店舗内に子供図書館を開設しています。現在は4店舗に各2万冊の蔵書を持ち、たくさんのお子様が利用しています。各館とも、専門の司書や地元ボランティアが運営に携わり、絵本の読み聞かせや社会慣習などの催し物を行い、より本を身近に感じてもらえるように活動をしています。



### 育児相談

不安や疑問を抱えるプレママや子育てママを対象に、大型店舗では赤ちゃんの健やかな生育を支援するための育児相談会を定期的開催しています。保健師さんが来店されるので、安心して相談や講習会に参加していただいています。



### 名古屋市「エコ事業所優秀賞」受賞 アピタ新守山店

名古屋市が認定しているエコ事業所のうち、特に優秀な事業所として表彰されました。アピタ新守山店の食品リサイクルの実施や容器包装のリサイクル、ノーレジ袋キャンペーンなどの実績を認められ、優秀事業所に選ばれました。



### EXPOエコマネーへの協力

ユニーでは「ノーレジ袋キャンペーンスタンプ」をエコマネーと交換できるなど、EXPOエコマネーに協力しています。また、2007年7月にはアピタ長久手店内のNピアにポイントが入力できる、エコマネーセンターを開設しました。



### 人と地球にやさしい環境通貨 「EXPO エコマネー」 石川 基重さん

2005年日本国際博覧会（愛・地球博）で誕生した「EXPO エコマネー」は、ポイントを貯める時も使うときも、地球にやさしい新しい社会システムとして話題となり、万博開催期間中には60万人もの参加者を集め、閉幕後も名古屋市の金山駅やアピタ長久手店など愛知県内7カ所の拠点で事業を継続。これまでに、レジ袋を断ったり公共交通機関への利用などで850万ポイントが発行され、地球にやさしいエコ商品との交換や植樹への寄付などで550万ポイント余りが使われ、4,300本もの植樹を行っています。今後も、「愛・地球博」の理念を継承し、持続可能な社会の創造に向けて、地産地消、エコ商品の購入、グリーン物流など多彩なポイント発行メニューや魅力的な還元メニューの開発に取り組むとともに、電子マネーやIC乗車券などでのポイント取得、ポイントが使える施設の拡大など、身近な仕組みづくりを目指していきます。



# お客様の声 人にやさしく、環境にやさしい 店づくりのために

よりよい店づくりのために、何よりもお客様のご意見を大切にしています。お客様の声に真摯に耳を傾け、速やかな回答と迅速な対応ができる仕組みを整え、商品やサービスの改善を進めています。



## お客様の声のポスト

### お客様の声がユニーを変えます

ユニーでは各店舗に「お客様の声のポスト」を設置しています。ポストには店舗施設や商品・サービスなどさまざまなご意見ご要望、お問い合わせ、またご指摘やお叱りの言葉が寄せられています。これらの「お客様の声」には店長が必ず回答し、店舗や商品、サービスなどに反映させていただいています。ポストに入れていただいている「お客様の声」はユニーがこれからも地域のお客様と一緒により良い生活を築いていくためのメッセージであり、羅針盤でもあります。1枚の「お客様の声」には、ポストには入っていないもっとたくさんの「お客様の声」が感じられます。これからも、お客様からのメッセージを真摯に受け止め、お客様に支持され期待される店づくりに努力していきます。

ご指摘・ご意見	1937件	75.8%
お問い合わせ・ご要望	569件	22.3%
お褒め	49件	1.9%

※データは、2007年2月21日～2008年2月20日（ユニー本部 受付分）のものです。



### お客様の立場でさまざまな改善に努めています

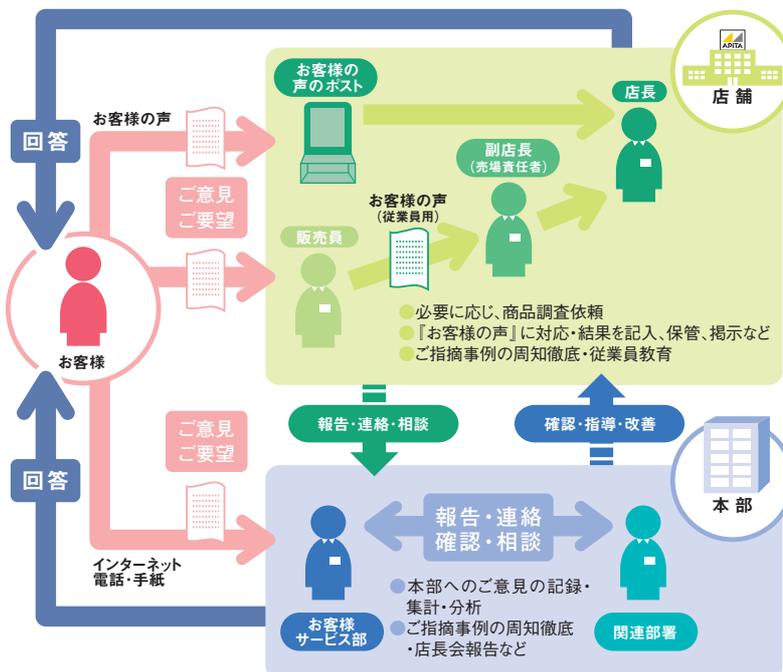
お客様からお寄せいただきましたご意見、ご要望、ご質問などのうち、全体的な内容につきましては店舗から本部へ報告され、毎週とりまとめたうえで本部内、各地区事務所、関係部署へフィードバックされ、商品開発や品揃え、売場づくりやサービス改善に活かされています。こうしてお客様の声が全社の改善につながるのです。

38期下期からは「お客様の声の見える化」に取り組み、各店でのボードの設置、各店舗ネット端末での発生事例の公表など情報の共有化を図り、苦情などの再発防止に向けた取り組みを行っています。

また従業員の意識を高め、苦情などの発生を少しでも削減するように努めています。



## 「お客様の声」の流れと対応



### ホームページからの環境情報発信

ユニーのホームページでは、環境保全についての取り組みを紹介しています。「エコショッピング」「環境レポート」「やさしい暮らしダイアリー」などがご覧いただけます。また、メールマガジン「エコNews」も作成しており、環境保全についての有益な情報を多くの皆様へ発信しています。

環境社会貢献部 ホームページアドレス

<http://www.uny.co.jp/eco/>





従業員にイイこと、プラス。

# 人材育成

人材育成の方針は、「任せて育てる」

ユニーでは社員一人ひとりが、自ら学び、考え、動く「考動」する人材になることを目指しています。

流通小売業に従事するビジネス人としてのスキルアップのみならず、

広く社会に貢献できる人間力を育成するのが、ユニーの人材に対する考え方です。

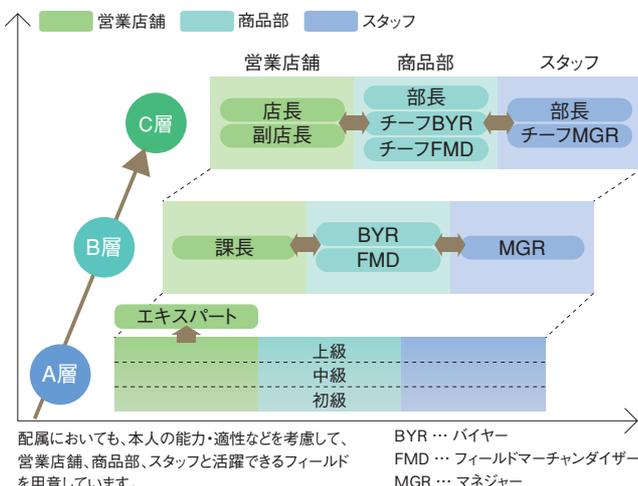
安定した雇用環境や実力重視の人材登用、充実した福利厚生など、社員一人ひとりを強力にバックアップしています。



## キャリアアップ制度

ユニーを支えているのは「人」。その能力を最大限に発揮させていくことが、会社の成長に繋がっています。そこでユニーでは、選択登用制度を導入し、育成段階のA層から管理段階であるB・C層へ進むか、それとも専門段階のエキスパート職へ進むかは、自己判断で決定できるようになっています。

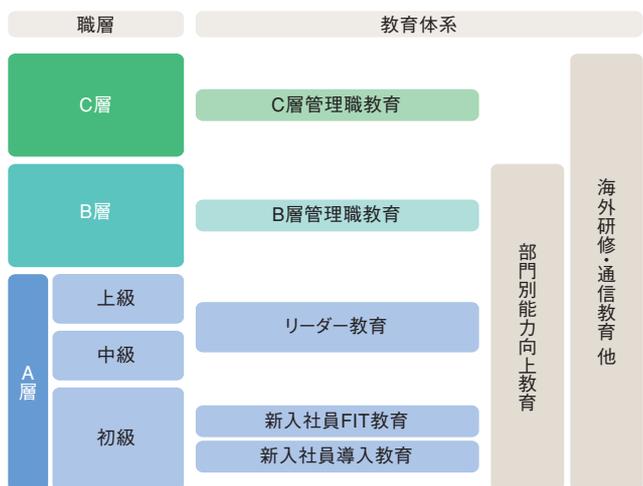
### ●キャリアステップ



## 充実の教育体系

権限委譲の方針からもわかるように、人材育成の基本はOJT教育です。しかし、新入社員については、入社前教育・新入社員導入教育・新入社員FIT教育と十分なOFFJT教育に力を入れています。また海外研修・自己啓発研修・商品担当ごとの教育もキャリアに応じて実施しています。

### ●教育体系図



## ●愛知県ファミリー・フレンドリー企業に登録

労働者が男女ともに仕事と家庭を両立させながら働くことができる職場環境づくりに取り組んでいる企業として、愛知県ファミリー・フレンドリー企業に登録しています。

## ●次世代法に基づく基準適合一般事業主認定企業

仕事と子育ての両立をはかるために必要な、雇用環境の整備などを進めるための「一般事業主行動計画」を策定し、基準に適合した一般事業主として認定されました。

## ●福利厚生

### 財産形成

- 持株会  
毎月の給与より株式購入が可能

### 住宅関連

- 自宅から通勤できない人には社宅を用意
- 人事異動により転勤する場合、一定額の家賃を補助

### 労働時間

- 実働8時間

### 休日休暇

- 休日  
年間115日(週休2日制)、連続休暇有
- 年次有給休暇  
入社半年後から初年度10日間を付与

### ●半日年休制度

付与された年次有給休暇のうち6日間を半日に分割して年間12回取得可能

### 手当

- 通勤手当・時間外勤務手当・薬剤師手当・扶養手当・住宅費補助手当

### ●女性が活躍できる制度の充実

- 自社商品割引購買制度  
自社商品を1割引で購入可能  
同居家族も利用できるよう「家族証」も発行  
年間利用限度額なし
- 出産休暇  
本人が出産のとき産前6週間(多胎妊娠の場合14週間)産後8週間

### ●配偶者出産休暇

配偶者が出産のとき、出産日から2週間以内に有給の休暇を2日取得可能

### ●育児休業

1歳6ヶ月までの育児休業取得可能

### ●看護休暇

子供(小学校就学前)の病気・けが等の看護が必要な場合5日間取得可能、半日取得可能

### ●介護休業

介護の必要な家族を介護する場合に通算93日以内の取得可能

### ●育児短時間勤務

小学校3年生までの子供がいる場合、1日の所定労働時間を2.5時間~2時間短縮することが可能

### ●社員再雇用資格認定規程

一定条件を満たした対象者に、将来会社への再就職に際して優遇

### その他

- 障害者雇用  
障害者雇用率1.8%以上の社会的責任を果たすため、障害者の雇用促進に努める
- 65歳までの再雇用制度  
65歳までの再雇用制度を設け、正社員・パートナー社員にも適用
- 就労体験制度  
公共団体からなどの企業研修の要請に応じて受け入れを実施  
学生などの就労体験の受け入れを実施
- 全店店長にサービス介助士2級取得を義務づけ



# 環境学習 環境について 学ぶための取り組み

「未来の子供達に美しい自然を残したい」ユニーは企業として、地球環境保全と低炭素社会実現のために、何をしていかなければならないのかを考え、実行していくために環境教育を行っています。また、社員やユニーに関係する人々が果たす役割を認知し環境保全への意識を高め、実践していくために必要な知識や技術を習得するための講習を各店舗・事業所で実施しています。



## 本社従業員教育

### ■ ISO14001集合教育

全従業員が「環境方針」を理解し、実現するために、環境マネジメントシステムISO14001を導入しています。環境計画の目標を達成するために、従業員教育を定期的に行っています。



### ■ 防災訓練

「緊急事態への対応」として、防災訓練を定期的に行っています。火災・地震・台風などの自然災害については、店舗・事業所毎に訓練を実施し、不測の事態に備えています。また、店舗・事業所ともに、たくさんの人が集まる場所なので「新型インフルエンザ対応マニュアル」の作成、関係者への教育を行っています。



### ■ 関連会社従業員教育

ユニーの従業員以外の派遣社員や社内で仕事をしている人々にも、ユニーの環境保全活動を理解し協力していただくための教育を実施しています。



## 新入社員教育

ユニーの環境方針の理解や、店舗・事業所での環境保全活動について、新入社員オリエンテーションで教育を行っています。



## 店舗での教育

### ■ テナント・その他の従業員教育

店舗に出店しているテナントや店内で仕事をしている人々に、環境保全活動を理解し協力していただくための教育を実施しています。



### ■ 環境関連事業者連絡会

ユニーで仕事をしていただいている、一般廃棄物運搬事業者や産業廃棄物処理事業者などの、環境関連事業者を集め、連絡会を定期的で開催しています。廃棄物に関する法令遵守やリサイクル推進のために、ユニーと一緒に取り組んでいただくよう行政や専門家のセミナー、リサイクル施設の見学会を実施しています。



## 環境コミュニケーションツール

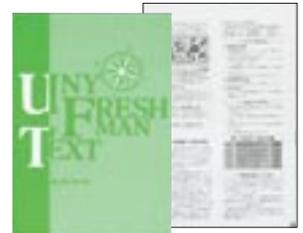
### 従業員教育マニュアル

社内規定をまとめたポケットガイドに、環境の基礎知識をまとめました。また、従業員マニュアルに環境のページを加え、より充実させました。



### 新入社員テキスト

新入社員に対しても入社時から環境に対する知識を身につけ、理解を深める教育も実施しています。



### 各店舗に環境壁新聞を掲示

ユニーの店内には、環境問題についてわかりやすく紹介した「やさしくらしダイアリー」を掲示しています。インターネットからもご覧いただけるように、ユニーのホームページでも掲載しています。



### 社内報での情報の共有

社内報では店舗での取り組みを紹介し、従業員の環境意識を高めています。誌面には、「環境の欄」を設け、会社や各店舗での取り組み、成果などの情報を全従業員と共有しています。



# ユニーの食育について 食育への取り組み

心身ともに健全な社会に向けて、国を挙げての取り組みが始まった食育。ユニーでは、子供から大人まで「健康で豊かな食生活」を送っていただくために、さまざまな食育活動を進めています。

## ユニーの食育

心身ともに健全な社会のため、子供から大人まで食に関心を持ち、正しい知識を身に付け、美味しく楽しい食生活を送っていただけるよう食育活動に取り組めます。

### ユニーの食育理念

私たちは、食と食に関わる情報の提供を通して、食の大切さや楽しさを地域のお客様と共有化します。

### ユニーの食育方針

- 1 新鮮かつおいしい食材を提供することにより味覚を養います。
- 2 食材の持つ栄養素とその働きを理解することにより体を養います。
- 3 食材のルーツをたどることにより食べ物を大切に作る心を養います。
- 4 食材本来の味や特性を活かした調理や料理ができる技を培います。
- 5 合理的な手法を用いた商品選択により安全・安心な食材提供に努めます。

食材の旬・生まれ・栄養素・調理方法や昔ながらの伝統食など、親から子へ語り伝えていきたい食の物語を「たべものがたり」と名付け、皆様にわかりやすくお伝えしていきます。



## あいち食育サポート企業団の設立

食育の重要性が叫ばれているなか、これまで以上に健全な食生活の実現と豊かで活力ある社会づくりに向けて、「あいち食育サポート企業団」を結成し、愛知県や関係団体等と連携・協働して食育を推進しています。



あいち食育サポート企業団でレシピコンテストを実施

## 食事バランスガイドモデル実施事業取組内容の報告

「食事バランスガイド」を活用したバランスの良い食事の啓蒙を実施するモデル実証企業として、農林水産省補助事業「平成19年度にっぽん食育事業」に協力しました。店頭を通して、お客様に「食事バランスガイド」の理解・活用を促し、「情報」と「体験」を通して食への悩みを解決していただく助けとなる取り組みを進めています。

**食事 バランスガイド**  
あなたの食事は大丈夫？

1日分	料理例
5.7 200kcal ごはん(白米)150g ごはん(雑穀)100g ごはん(玄米)100g	1. 白米、雑穀米、玄米、炊飯 2. 雑穀米、玄米、炊飯
5.6 200kcal 野菜(野菜)100g 野菜(豆類)50g 野菜(海藻類)50g	1. 野菜炒め、野菜スープ、野菜の煮物 2. 野菜の煮物、野菜の炒め物、野菜の揚げ物
3.5 200kcal 肉(赤身)50g 肉(白身)50g 肉(魚介類)50g	1. 肉の炒め物、肉の煮物、肉の揚げ物 2. 肉の煮物、肉の炒め物、肉の揚げ物
7 200kcal 牛乳(全乳)100g 乳製品(乳製品)100g	1. 牛乳、ヨーグルト、チーズ、バター 2. 牛乳、ヨーグルト、チーズ、バター
2 200kcal 果物(果物)100g	1. 果物の炒め物、果物の煮物、果物の揚げ物 2. 果物の炒め物、果物の煮物、果物の揚げ物





### 5ADAY食育体験ツアー

「1日5皿分(350g)以上の野菜と200g以上の果物を食べましょう」をスローガンとした「ファイブ・ア・デイ」活動を推進しています。地域の小学生を対象とした野菜・果物摂取促進につながる食育学習に取り組んでいます。



### 収穫体験

お客様と一緒に産地で収穫を体験するツアーを実施しています。農産物の栽培から収穫までを生産者とふれあいながら体験することにより、売場の野菜・果物を身近に感じていただくことが食育につながるとユニーは考えています。



### 企業との共同食育イベント

料理教室や、店内のイベントを通じて、皆様に「食」についての関心を持っていただくために、ユニーは地元企業などと共同で、食に関するさまざまなイベントを開催しています。



### クッキングワゴン

栄養士が健康を考え、旬の食材を使って提案する店頭での調理実演コーナーを開催しています。アピタ・ユニーでは、食に関するさまざまな情報を発信しています。店頭やWebなどでレシピもたくさん用意しています。ぜひ、ご活用ください。



### 地元学生との共同食育まんが

食物栄養学科の学生と取り組んでお子様にわかりやすい「食育まんが」を作りました。さまざまな年代の方に食育について興味をもっていただくことが目的です。



### ホームページ

私たちにとって、一番身近な「食」に関することを紹介するサイトです。旬の食べ物を食卓に取り入れる方法や、栄養士が考える健康&簡単「からだにイイことレシピ」など、日々の食生活を応援しています。国が推進している「食事バランスガイド」の啓蒙も推進しています。





みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%



「未来の子供達に美しい自然を残したい」

ユニーは環境に優しい生活をお客様と一緒に進めていきます。



ユニー株式会社 環境社会貢献部  
愛知県稲沢市天地五反田町1番地  
TEL.0587-27-8093 FAX.0587-24-8034  
<http://www.uny.co.jp>



このレポートは、FSC認証紙と環境に配慮した植物性大豆油インキを使用し、水なし印刷方式で印刷しています。